

流山運動公園周辺地区 埋蔵文化財調査報告書 7

－流山市市野谷宮後遺跡（北側）・市野谷芋久保遺跡(14)
(旧石器時代編)－

令和4年3月

千葉県教育委員会

流山運動公園周辺地区 埋蔵文化財調査報告書 7

ながやま いちのやみやうしろ いちのやいもくば
－流山市市野谷宮後遺跡（北側）・市野谷芋久保遺跡(14)
(旧石器時代編)－



序 文

いにしえより温暖な気候に恵まれた千葉県には、先人たちの生活の痕跡が埋蔵文化財包蔵地（遺跡）として数多く残されています。これらの埋蔵文化財は県民共有の財産として、地域の歴史や文化の解明に欠かすことのできない貴重なものです。

千葉県教育委員会は、埋蔵文化財の保護と各種開発事業との調整、埋蔵文化財の調査研究・文化財保護思想の普及などを目的とした諸活動に加え、千葉県が行う開発事業にかかる発掘調査や調査成果の整理、報告書の刊行について実施しております。

本書は、千葉県教育委員会埋蔵文化財調査報告第41集として、千葉県県土整備部による流山運動公園周辺地区土地区画整理事業に伴って実施した、流山市市野谷宮後遺跡（北側）、市野谷芋久保遺跡（14）（旧石器時代編）の発掘調査報告書です。

これまでに行われた調査では、旧石器時代の石器集中地点が3か所検出され、地域の歴史を知る上での貴重な成果を数多く得ることができました。

刊行に当たり、本書が学術資料としてだけでなく、郷土の歴史に対する理解を深めるための資料として多くの方々に広く活用されることを期待しております。

最後に、発掘調査から整理作業を通じ、地元の方々をはじめとする関係者の皆様や関係諸機関には多大な御協力をいただきました。心から感謝申し上げます。

令和4年3月

千葉県教育庁教育振興部
文化財課長 田中文昭

凡　例

- 1 本書は、千葉県県土整備部による流山運動公園周辺地区土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査報告書である。
- 2 本書は、千葉県流山市市野谷字宮後に所在する市野谷宮後遺跡の北側（遺跡コード 220-025）、流山市市野谷字芋久保に所在する市野谷芋久保遺跡の第14次（遺跡コード 220-021）の、旧石器時代の成果を収録している。
- 3 発掘調査から報告書作成に至る業務は、千葉県県土整備部の委託を受け、平成24年度まで公益財団法人千葉県教育振興財団が実施し、平成25年度からは千葉県教育庁教育振興部文化財課が実施した。
- 4 調査組織及び発掘調査と整理作業の期間・担当者等は、第1章に掲載した。
- 5 本書の執筆は以下の通りで、編集は安井が行った。

第1章 安井健一

第2章・第3章 横田真名望

- 6 発掘調査から報告書の刊行に至るまで以下の機関及び方々からご指導、ご協力を得た。

千葉県県土整備部市街地整備課・流山区画整理事務所、流山市教育委員会、公益財団法人千葉県教育振興財団、栗田則久、津田芳男、橋本勝雄

- 7 本書で使用した地図の座標値は、日本測地系にもとづく平面直角座標で、図面の方針はすべて座標北である。

- 8 本書で使用した地形図は下記の通りである。

第1・2 流山市発行 1/2,500 流山市都市計画地図

第4～6図 (財)千葉県史料研究財団編 1997『千葉県の自然誌 本編2 千葉県の大地』千葉県
(原資料は千葉県文書館所蔵 掲載許可番号 3-県-19)

第7図 参謀本部陸軍部測量局作成 1/20,000 迅速測図「流山村」

第8図 国土地理院発行 1:25,000「流山」(NI-54-25-1-2)・「松戸」(NI-54-25-2-1) 平成17年発行

- 9 本書で使用した航空写真（遺跡周辺航空写真）は下記の通りである。

図版1 国土地理院発行1949年撮影（番号 UR522-CA-20, UR534-No2-CB-119）

本文目次

第1章 はじめに.....	1
第1節 調査の概要.....	1
1 調査の経緯と経過.....	1
2 調査の方法と調査概要.....	5
第2節 遺跡の位置と環境.....	5
1 地形と地質.....	5
2 遺跡の地理的環境.....	9
3 周辺の遺跡と歴史的環境.....	9
第2章 旧石器時代の遺構と遺物.....	16
第1節 概要.....	16
第2節 基本土層.....	17
第3節 石器群の分布と出土遺物.....	17
1 第1文化層.....	17
(1) 第1ブロック.....	17
(2) 第2ブロック.....	19
2 第2文化層.....	25
(1) 第3ブロック.....	25
3 その他の出土遺物.....	29
第3章 まとめ.....	32

写真図版

報告書抄録

挿図目次

第1図 流山運動公園周辺地区土地区画整理事業 地内遺跡 (S=1:10,000).....	2	第5図 下総台地西部における地形面の分布.....	7
第2図 市野谷宮後遺跡、市野谷芋久保遺跡全体 図と地形 (S=1:2,000)	3	第6図 下総台地の模式的地形地質断面図.....	7
第3図 下層確認調査グリッド配置及び本調査範 囲.....	4	第7図 遺跡の立地と周辺の地形.....	8
第4図 千葉県地質図.....	6	第8図 遺跡の位置と周辺の遺跡 (S=1:25,000)	14
		第9図 市野谷宮後遺跡（北側）・市野谷芋久保 遺跡下層全測図.....	16

第10図	下層基本土層図	17	第17図	第2 ブロック出土遺物（2）	23
第11図	第1 ブロック器種別分布	18	第18図	第2 ブロック出土遺物（3）	24
第12図	第1 ブロック石材別分布	18	第19図	第3 ブロック器種別分布	26
第13図	第1 ブロック出土遺物	19	第20図	第3 ブロック石材別分布	26
第14図	第2 ブロック器種別分布	20	第21図	第3 ブロック出土遺物（1）	27
第15図	第2 ブロック石材別分布	21	第22図	第3 ブロック出土遺物（2）	28
第16図	第2 ブロック出土遺物（1）	22	第23図	ブロック外出土遺物	29

表 目 次

第1表	市野谷宮後遺跡(1)～(16)-2、市野谷芋久 保遺跡(14)調査一覧表	12	第4表	第2 ブロック石器組成表	21
第2表	周辺遺跡一覧表	15	第5表	第3 ブロック石器組成表	25
第3表	第1 ブロック石器組成表	19	第6表	旧石器時代出土石器属性表	29

図版目次

図版1	遺跡周辺航空写真（1949年撮影）	第3 ブロック遺物出土状況
図版2	下層基本層序	図版3 旧石器時代出土石器（1）
	第1 ブロック遺物出土状況	第1 ブロック
	第2 ブロック遺物出土状況南東から	第2 ブロック
	第2 ブロック遺物出土状況南西から	図版4 旧石器時代出土石器（2）
	第2 ブロック遺物出土状況北東から	第3 ブロック
	第2 ブロック遺物出土状況東から	ブロック外
	第2 ブロック遺物出土状況南から	

第1章 はじめに

第1節 調査の概要

1 調査の経緯と経過

千葉県企業庁は、常磐新線（現・つくばエクスプレス）の建設に関連して流山運動公園周辺地区土地区画整理事業（以下、運動公園地区と略す）を計画し、事業実施に先立って「埋蔵文化財の所在の有無及びその取扱いについて」の照会文書を千葉県教育委員会教育長あてに提出した。千葉県教育委員会は、事業予定地内に27か所の周知の埋蔵文化財包蔵地が所在することを確認して、その旨回答した（第1図）。

その後、両者は事業予定地内の埋蔵文化財の取扱いについて慎重な協議を重ね、現状保存及び計画変更が困難な地点については、やむを得ず記録保存の措置を講じることとした。記録保存のための発掘調査は、財團法人千葉県文化財センター（現・公益財團法人千葉県教育振興財團）が実施することとなり、千葉県企業庁との間に委託契約が締結され、平成9年度から発掘調査が開始された（平成18年度から千葉県県土整備部が事業を引き継ぐ）。

市野谷宮後遺跡は流山市市野谷字宮後ほかに所在し、面積は約84,600m²を測る（第2図）。このうち約90%にあたる76,486m²について、平成9年度から令和2年度まで16次にわたって発掘調査を実施した。

市野谷芋久保遺跡は、流山市市野谷字芋久保ほかに所在し、面積は約105,000m²を測る。このうち大部分は、独立行政法人都市再生機構による流山新市街地地区土地区画整理事業地内（以下、新市街地地区と略す）となっているが、西端部の125m²が運動公園地区内となっている（第2図）。調査は平成21年度に、市野谷宮後遺跡の第10次調査と合わせて実施した。

今回報告書を作成するにあたり、市野谷芋久保遺跡については面積が狭小であることと、検出された遺構は市野谷宮後遺跡と繋がっているものが多いため、単独ではなく両者を合わせた形とするのが現実的と考えられた。また市野谷宮後遺跡は北側と南側で様相が大きく異なること、南側は遺構・遺物が多く検出され、整理に相当時間を要することが想定されたので、迅速な整理作業と報告書作成を促進するという観点から、時代別としたうえで南北に分けて報告するのが妥当と判断し、市野谷宮後遺跡の北側と市野谷芋久保遺跡の旧石器時代について報告することとした。第2・3図の中央道路より北側が今回報告対象範囲である。両遺跡の発掘調査及び整理作業に間わった各年度の担当職員、作業内容等は第1表のとおりである（発掘調査は南側を含む）。

事業地内における遺跡の調査成果としては、これまでに思井堀ノ内遺跡について、中世編及び旧石器～奈良・平安時代編の2冊の報告書が財團法人千葉県教育振興財團（現・公益財團法人千葉県教育振興財團）により刊行され^{①②}、思井上ノ内遺跡と中中屋敷遺跡、前平井堀米遺跡、後平井中通遺跡の報告書が千葉県教育委員会から刊行されている^{③④⑤⑥}。本書はその7冊目となる。

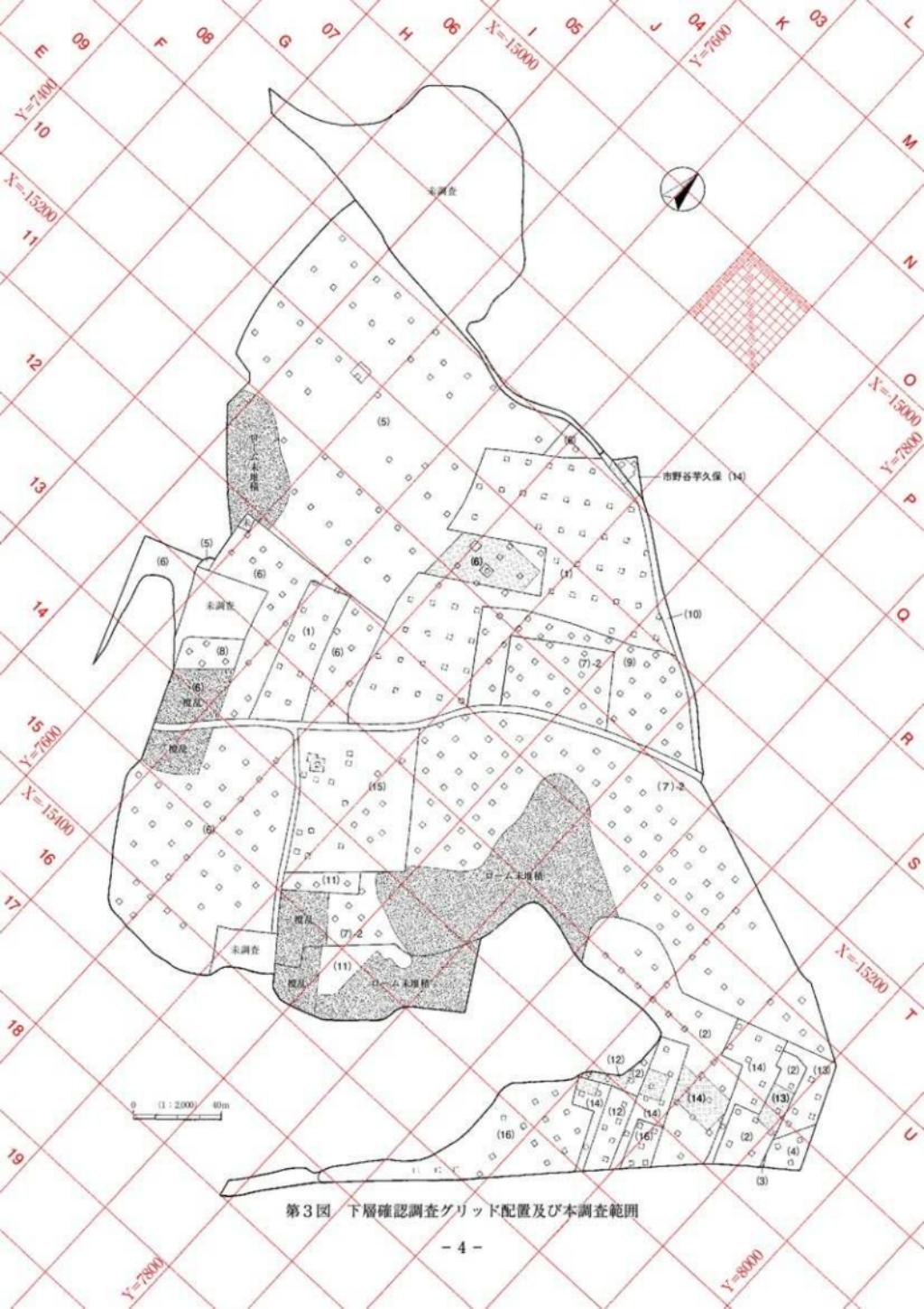
市野谷宮後遺跡と市野谷芋久保遺跡の整理作業は、平成21年度に公益財團法人千葉県教育振興財團が、さらに平成25年度から令和3年度まで千葉県教育庁教育振興部文化財課が引き継いで実施し、令和3年度に報告書刊行に至った。

-
1. 市野谷網内第Ⅰ遺跡
 2. 市野谷網内第Ⅱ遺跡
 3. 市野谷地区谷ノ遺跡
 4. 市野谷中台遺跡
 5. 市野谷宮代遺跡
 6. 市野谷山内遺跡
 7. 後平井中台遺跡
 8. 恩井上ノ内遺跡
 9. 恩井郷ノ内遺跡
 10. 恩井郷ノ外遺跡
 11. 加東原遺跡
 12. 古間木芳賀殿第Ⅱ遺跡
 13. 中ノ台遺跡
 14. 中中屋敷遺跡
 15. 野々下大屋敷遺跡
 16. 野々下西方遺跡
 17. 野々下山中遺跡
 18. 古間木山王第Ⅰ遺跡
 19. 古間木芳賀殿第Ⅰ遺跡
 20. 前平井遺跡
 21. 前平井郷外遺跡
 22. 三輪野山八幡前遺跡
 23. 三輪野山宮前遺跡
 24. 古間木山王第Ⅱ遺跡
 25. 荒崎大屋敷
 26. 野々下貝塚
 27. 市野谷李久保遺跡

第1図 流山運動公園周辺地区土地区画整理事業地内遺跡 (S=1:10,000)



第2図 市野谷宮後遺跡、市野谷芋久保遺跡全体図と地形 (S=1:2000)



第3図 下層確認調査グリッド配置及び本調査範囲

2 調査の方法と調査概要

調査にあたっては、区画整理事業地内の遺跡を網羅するように、日本測地系に基づくグリッド設定を行っている。X = -14,800m、Y = +7,600mを起点とする40m × 40mの方眼を大グリッドとし、北から南へ01～67、西から東へA～Z及びAA～ANとし、大グリッドはアルファベットと数字の組み合わせにより「C02」「K11」のように表示する。今回報告する市野谷宮後遺跡（北側）と市野谷芋久保遺跡（14）は、大グリッドで示すと I 08～N08・I 09～O09・I 10～Q10・I 11～S11・J 12～T12・J 13～T13・J 14～S14・K 15～R15・L 16～Q16・O 17～P 17グリッドの範囲にあたる。大グリッドの中は、更に4m × 4m の小グリッドに100分割し、小グリッドは北西角から東へ00、01、02…、南へ00、10、20…とし、南東角を99とする。これにより、大グリッドとの組み合わせで、例えば「M10-50」などのように小地区名を表示している（第3図）。

旧石器時代の調査については、各調査区の対象面積に対し4%程度の確認グリッドを設定し、石器出土地点の層位と広がりを確認した。その結果、南側を含む5か所の地点の計1,439m²を本調査とした（第3図）。それ以外の調査区についてはトレンチの拡張等で対応した。なお、遺跡の西側及び中央部の谷津周辺では立川ローム層が流失している場所がある。

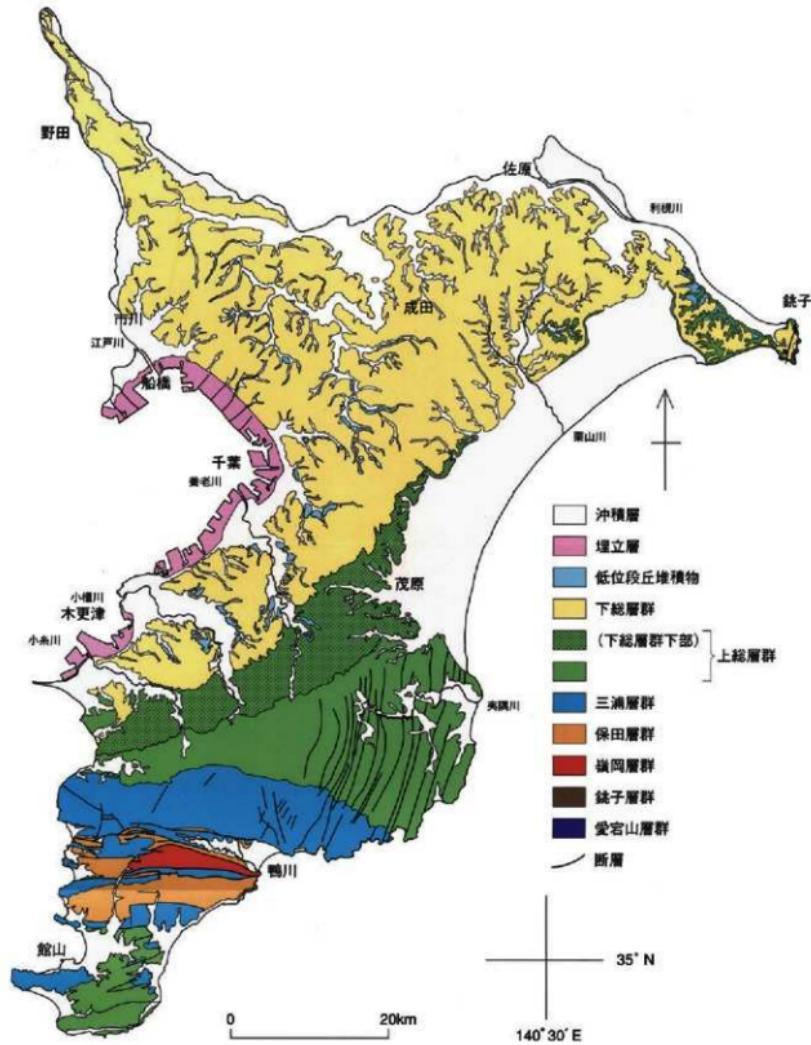
調査の結果検出された遺構のうち、今回報告するのは市野谷宮後遺跡北側の旧石器時代石器集中地点3か所である。市野谷芋久保遺跡では旧石器時代の遺構・遺物は確認されなかった。

第2節 遺跡の位置と環境

1 地形と地質

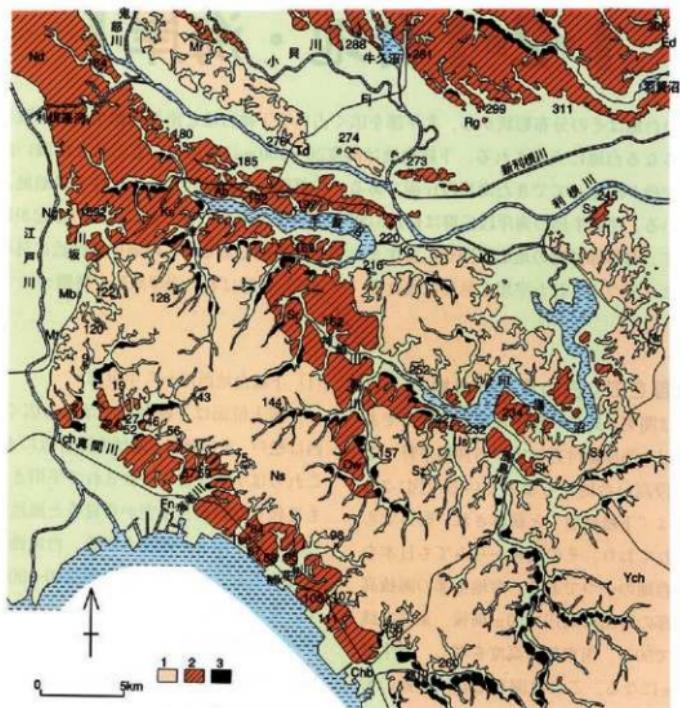
千葉県の地形は北部の海岸平野と南部の丘陵によって特徴づけられる（第4図）。北部の海岸平野は標高100m以下と低くて平坦であり、広大な関東平野の南東部を占め北の利根川を境に茨城県と、西の江戸川を境に東京都と接する。南部の丘陵は房総半島の主体をなすもので、海拔400m弱で起伏に富み、東は太平洋、西は東京湾に面する。これらの地形は地質時代ではごく最近にできあがったものであり、この数万年間の海面変化・地殻変動の諸作用によって生まれてきたものである。加えて最近は人間活動による改変も著しく、人工地形も各所にみられる。

県北部の海岸平野は河川や海岸線付近に広がる沖積平野と、それより一段高い台地からなっている。この台地は「下総台地」と称され、日本を代表する台地の一つである。西端に当たる流山市付近は標高20m前後であるが、東端の銚子市付近では50m、南東端の長生郡付近では100m前後となり、南東部に向けて高度を増して上総丘陵へと続いている。これは関東造盆地運動の影響により北西部へ傾斜していることによるものとされる。この下総台地は三つの段丘面に分類される（第5・6図）。1の下総上位面は、約13～12万年前の世界的な海進期に海底で堆積した成田層が、その後の海退で陸化した海岸段丘が基になつておらず、直上に約11万7000年前に噴火した箱根新期外輪山由来の三色アイス軽石層（SIP）が堆積し、その上に下末吉、武藏野、立川の所謂関東ローム層が堆積している。下総上位面は下総台地の主体をなす段丘であるが、東葛地域では松戸以南が主であり流山ではごく一部に存在するにとどまる。2の下総下位面は下総上位面が陸化した後、海成層である成田層に河川からの流入物や湿原堆積物からなる竜ヶ崎砂層もしくは常総粘土層が堆積し、約10万年前の海進期に段丘が形成された後に陸化したものである。直上には約9万年前に噴火したとされる御岳第1軽石層（Pm-1）が堆積し、その上部に下末吉（上部）、武藏

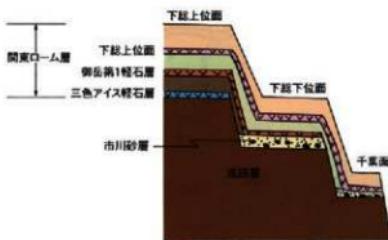


第4図 千葉県地質図

野、立川の関東ローム層が堆積する。下総下位面は下総台地では東葛北部から印旛沼周辺にかけてと、千葉以西の東京湾岸沿いに分布する。流山市も大部分がこの下総下位面上に立地する。3の千葉面は下総下



第5図 下總台地西部における地形面の分布



第6図 下總台地の模式的地形地質断面図

位面が陸化した後、河床面だった頃に砂礫層が形成され、その後河川の浸食により河岸段丘が形成されたものである。離水した後に約5万年前に噴火したとされる箱根新期外輪山由来の東京軽石層(TP)が堆積し、その上に武藏野(上部)、立川の関東ローム層が堆積する。千葉面は手賀沼、印旛沼、千葉以西の東京湾に注ぐ河川により形成された低地(開析谷)に接する形で幅狭く分布する。流山市が面する江戸川沿いにはほとんど認められない。



2 遺跡の地理的環境

市野谷宮後遺跡（第8図50）、三輪野山野馬土手（140）、市野谷芋久保遺跡（57）が所在する流山市は千葉県の北西部に位置し、江戸川に沿って南北に長い市域を有しており、北側で野田市、東側で柏市、南側で松戸市と接している。遺跡はこの流山市の南西部、標高23.5mの下総台地上に立地している。台地の西側直下には江戸川が流れ東京湾へ注いでおり、南側は松戸市との境をなす支流の坂川が流れている。遺跡の立地する台地は、東側の下総台地を開析して江戸川や坂川の流れる古東京湾沿岸に形成された広い低地へと半島状に突出しており、さらに両河川に注ぐ小支谷によって複雑に開析された舌状台地が連なる。これらの舌状台地上はほぼ全て埋蔵文化財包蔵地であることが確認されており、市野谷宮後遺跡、市野谷芋久保遺跡は坂川の支流最奥部の舌状台地上に立地する。背面はやはり江戸川の支流が北から入り込んで開析谷を形成しており、当遺跡は西側の江戸川低地に面する舌状台地と、分水嶺近くの後背台地とをつなぐ尾根状の地形上にあると言つてもよい。遺跡の南側を流れる坂川についてみると、遺跡付近から南西へ約5.3kmの地点で江戸川へと合流する小河川であるが、沿岸の坂川低地はこの地域では最大規模の開析谷であり、東側に広がる下総台地へと複雑に深く入り込んでいる。このためその谷頭は遺跡の北東側約7.5kmにある手賀沼と、そこに注ぐ小河川に接するような地点にまで延びている。ちなみに遺跡地から東側そして北側の台地へと入り込む坂川の支谷と、手賀沼の北西部へと注ぐ大堀川支谷との間は分水嶺をなし、台地の幅がわずかに300m～500mである。手賀沼は利根川（古鬼怒川）、霞ヶ浦（香取海）を経て太平洋へと通じる水系にあり、その意味ではこの坂川は、太平洋水系の手賀沼と東京湾を結ぶ水路のような位置にあると言える（第7図）。

3 周辺の遺跡と歴史的環境

流山市は高度経済成長期から首都圏のベッドタウンとして開発が進められ、数多くの遺跡が調査されている。それらの調査歴を全て網羅すると膨大なものとなることから、ここでは運動公園の事業地とその周辺を中心に、旧石器時代の代表的な調査成果を示してこの地域の歴史的環境を俯瞰したい（第8図、第2表）。ただし運動公園地区の発掘調査は未だ継続中であり未報告資料も多いため、あくまで暫定的なものである。また、ここで述べる市野谷芋久保遺跡の調査成果については、新市街地地区のものである。

流山市の旧石器時代の遺跡は近年、運動公園地区及び隣接する新市街地地区において著しく資料が増加している。思井堀ノ内遺跡（1）¹²、思井上ノ内遺跡（5）¹³、中中屋敷遺跡（29）¹⁴、前平井堀米遺跡（15）¹⁵、後平井中通遺跡（16）¹⁶、三輪野山北浦（旧三輪野山第Ⅱ）遺跡（56）¹⁷⁻¹⁷、西初石五丁目遺跡（63）¹⁸⁻¹²⁻¹³⁻¹⁵⁻¹⁶、市野谷入台遺跡（61）¹⁹⁻¹²、市野谷二反田遺跡（58）¹⁸、大久保遺跡（60）¹¹⁻¹⁵、市野谷向山遺跡（52）¹¹⁻¹²⁻¹⁴⁻¹⁶、東初石六丁目第Ⅰ遺跡（79）¹¹、東初石六丁目第Ⅱ遺跡（77）¹¹、市野谷中島遺跡（51）¹²⁻¹⁴⁻¹⁵、市野谷芋久保遺跡（57）¹⁵、市野谷立野遺跡（59）¹³⁻¹⁴⁻¹⁵⁻¹⁶、地図の外になるが十太夫第Ⅱ遺跡¹¹、桐ヶ谷新田第Ⅰ遺跡、中野久木遺跡、若葉台遺跡、桐ヶ谷南割（上貝塚）遺跡などで石器群が検出されている。思井堀ノ内遺跡ではⅢ層からⅩ層にかけて11ブロック、思井上ノ内遺跡ではⅣ層からⅩ層にかけて3ブロック、中中屋敷遺跡ではⅢ層からX層にかけて4ブロック、前平井堀米遺跡ではⅥ層からⅩ層にかけて2ブロック（内1ブロックは礫群）、後平井中通遺跡ではⅢ層からⅩ層にかけて5ブロック、三輪野山北浦遺跡ではⅢ層からⅧ層にかけて6ブロック、市野谷入台遺跡ではⅢ層からⅦ層にかけて26ブロック、市野谷二反田遺跡ではⅣ層からⅩ層にかけて12ブロック、西初石五丁目遺跡ではⅢ層からⅩ層にかけて6ブロック、大久保遺

跡ではⅢ～Ⅳ層とⅨ層で44ブロック、市野谷向山遺跡ではⅣ層からⅨ層にかけて22ブロック、東初石六丁目第Ⅰ遺跡ではⅣ層からV層にかけて3ブロック、東初石六丁目第Ⅱ遺跡ではⅣ層からV層にかけて5ブロック、十太夫第Ⅱ遺跡ではV層からVI層にかけて1ブロック、市野谷中島遺跡ではⅣ層からV層にかけて1ブロック、市野谷芋久保遺跡ではⅢ層からX層にかけて46ブロック、市野谷立野遺跡ではⅢ層からIV層にかけて5ブロックがそれぞれ調査されている。その他、上層遺構覆土中からの遺物出土事例は数多く報告されている。当地域の旧石器時代の特徴として北関東産の石材が多用される点が挙げられ、それは下総台地北西部という立地が大きく影響していると推測される。

注

- 1 (財)千葉県教育振興財団 2006『流山運動公園周辺地区埋蔵文化財調査報告書1－流山市思井堀ノ内遺跡（中世編）－』
(財)千葉県教育振興財団
- 2 (財)千葉県教育振興財団 2010『流山運動公園周辺地区埋蔵文化財調査報告書2－流山市思井堀ノ内遺跡（旧石器～奈良・平安時代編）－』(財)千葉県教育振興財団
- 3 千葉県教育委員会 2016『流山運動公園周辺地区埋蔵文化財調査報告書3－流山市思井上ノ内遺跡－』千葉県教育委員会
- 4 千葉県教育委員会 2017『流山運動公園周辺地区埋蔵文化財調査報告書4－流山市中中屋敷遺跡－』千葉県教育委員会
- 5 千葉県教育委員会 2020『流山運動公園周辺地区埋蔵文化財調査報告書5－流山市前平井堀米遺跡－』千葉県教育委員会
- 6 千葉県教育委員会 2021『流山運動公園周辺地区埋蔵文化財調査報告書6－流山市後平井中通遺跡－』千葉県教育委員会
- 7 (財)千葉県文化財センター 1996『主要地方道松戸野田線埋蔵文化財調査報告書－流山市南割遺跡・上貝塚第Ⅱ遺跡・上貝塚第Ⅰ遺跡・上貝塚貝塚・下花輪第Ⅲ遺跡・三輪野山第Ⅱ遺跡－』(財)千葉県文化財センター
なお、この報告書に掲載されている三輪野山第Ⅱ遺跡の調査範囲は、現在の三輪野山北浦遺跡と三輪野山道六神遺跡の2遺跡にまたがっている。また、下花輪第Ⅲ遺跡は現在桐ヶ谷浅間遺跡と呼称されている。
- 8 (財)千葉県教育振興財団 2008『流山新市街地地区埋蔵文化財調査報告書2－流山市西初石五丁目遺跡－』(財)千葉県教育振興財団
- 9 (財)千葉県教育振興財団 2008『流山新市街地地区埋蔵文化財調査報告書3－流山市市野谷入台遺跡－』(財)千葉県教育振興財団
- 10 (財)千葉県教育振興財団 2009『流山新市街地地区埋蔵文化財調査報告書4－流山市市野谷二反田遺跡－』(財)千葉県教育振興財団
- 11 (財)千葉県教育振興財団 2011『流山新市街地地区埋蔵文化財調査報告書5－流山市大久保遺跡（下層）・市野谷向山遺跡（下層）・東初石六丁目第Ⅰ遺跡（下層）・東初石六丁目第Ⅱ遺跡・十太夫第Ⅱ遺跡－』(財)千葉県教育振興財団
- 12 (公財)千葉県教育振興財団 2013『流山新市街地地区埋蔵文化財調査報告書6－流山市市野谷中島遺跡・市野谷向山遺跡・市野谷入台遺跡・西初石五丁目遺跡－旧石器時代編』(公財)千葉県教育振興財団
- 13 (公財)千葉県教育振興財団 2015『流山新市街地地区埋蔵文化財調査報告書7－流山市市野谷芋久保遺跡・市野谷中島遺跡（上層）・市野谷向山遺跡（上層）・市野谷立野遺跡・大久保遺跡（上層）・西初石五丁目遺跡・東初石六丁目第

- I 遺跡（上層）・十太夫第Ⅰ遺跡・十太夫第Ⅲ遺跡-』（公財）千葉県教育振興財団
14. （公財）千葉県教育振興財団 2016『流山新市街地地区埋蔵文化財調査報告書8－流山市市野谷茅久保遺跡・市野谷中島遺跡・市野谷向山遺跡・市野谷立野遺跡・大久保遺跡（上層）・十太夫第Ⅲ遺跡-』（公財）千葉県教育振興財団
15. （公財）千葉県教育振興財団 2017『流山新市街地地区埋蔵文化財調査報告書10－流山市市野谷茅久保遺跡・市野谷中島遺跡・市野谷向山遺跡・市野谷立野遺跡・大久保遺跡（下層）・西初石五丁目遺跡・十太夫第Ⅲ遺跡-』（公財）千葉県教育振興財団
16. （公財）千葉県教育振興財団 2019『流山新市街地地区埋蔵文化財調査報告書11－流山市市野谷向山遺跡・市野谷立野遺跡・西初石五丁目遺跡・市野谷駒木野馬土手・十太夫野馬土手-』（公財）千葉県教育振興財団
17. 流山市教育委員会 2015『流山市三輪野山遺跡群発掘調査概要報告書』流山市教育委員会

上記以外の関連文献

- (財)千葉県史料研究財団編 1997『千葉県の自然誌 本編2 千葉県の大地』千葉県
- (財)千葉県文化財センター 1986『常磐自動車道埋蔵文化財調査報告書V－谷・上貝塚・若葉台・塚(1)・(2)・馬土手(1)・(2)・(3)-』(財)千葉県文化財センター
- 流山市立博物館市史編さん係編 2001『流山市史 通史編I』流山市教育委員会
- 流山市立博物館編 2015『ふるさと流山のあゆみ』流山市教育委員会

第1表 市野谷宮後遺跡(1)～(16)-2・市野谷平久保遺跡(14)調査一覧表

【市野谷後遺跡発掘調査】

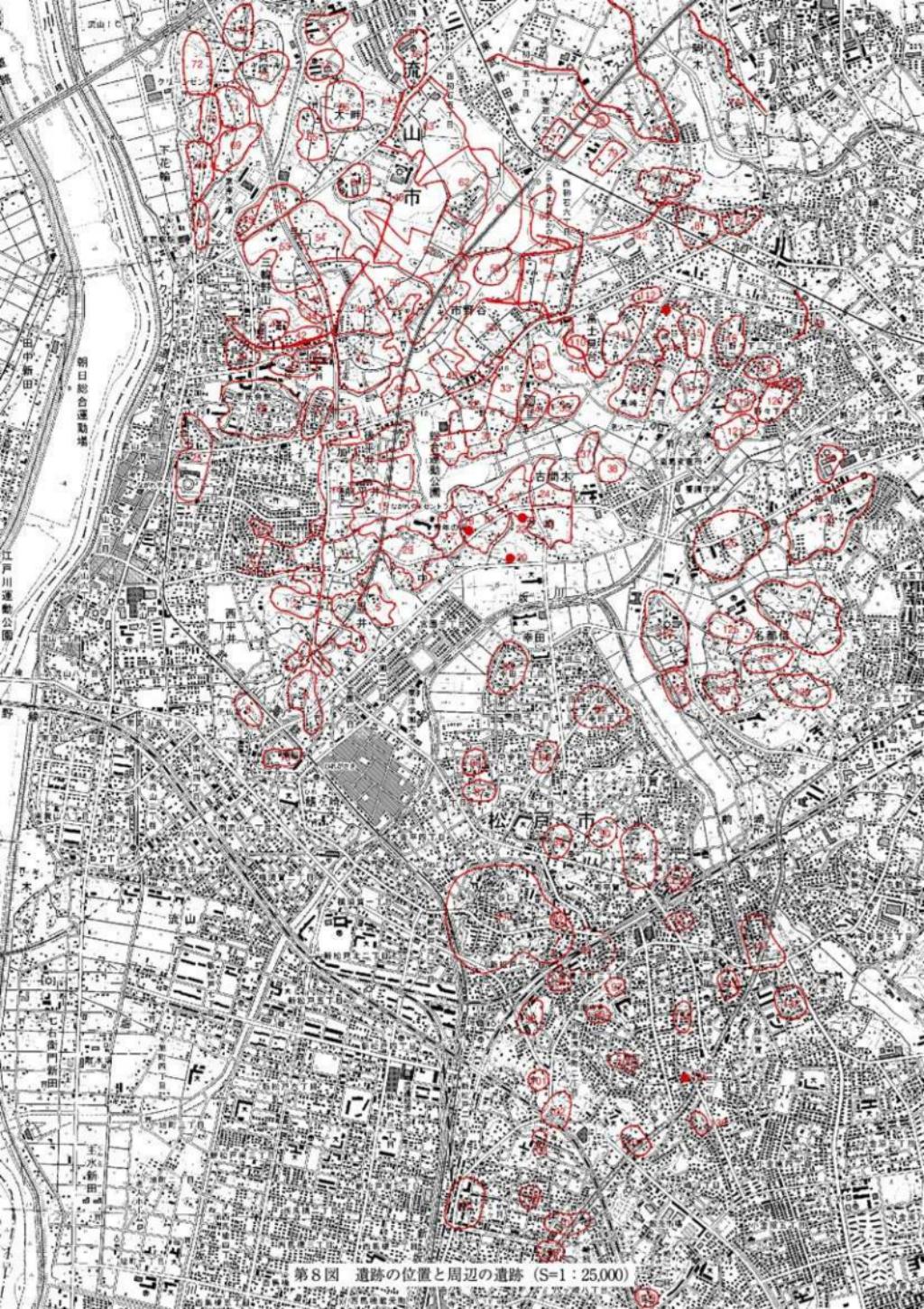
測量次 数	年 度	事 業 名	調査期間	調査体制	相 当 者	对象 面積 (m ²)	周邊調査 (m)		本調査 (m)
							上 面	下 面	
(1)	平成9 度	千葉県立農業公園開拓地(土地)区域整理	H-9.1.1-H-9.1.14	財团法人千葉県文化財団 七つの原	農務部長 西山木山郎 農務部長 阿久那 農務部長 田中明 農務部長 佐藤一	10,088 1,816 3,293	10,086 272 3,293	6,61 64 0	
(2)	平成10 度	千葉県立農業公園開拓地(土地)区域整理	H-10.1.7-H-10.1.22	財团法人千葉県文化財団 七つの原	農務部長 西山木山郎 農務部長 阿久那 農務部長 田中明 農務部長 佐藤一	3,293 304 3,293	3,293 304 3,293	0 0 0	
(3)	平成11 度	千葉県立農業公園開拓地(土地)区域整理	H-11.1.13-H-11.1.33	財团法人千葉県文化財団 七つの原	農務部長 西山木山郎 農務部長 阿久那 農務部長 田中明 農務部長 佐藤一	5 273 273	5 273 273	5 5 0	
(4)	平成12 度	千葉県立農業公園開拓地(土地)区域整理	H-12.1.22-H-12.29	財团法人千葉県文化財団 七つの原	農務部長 西山木山郎 農務部長 阿久那 農務部長 田中明 農務部長 佐藤一	15,827 1,706 15,827	15,827 1,706 15,827	0 0 0	
(5)	平成13 度	千葉県立農業公園開拓地(土地)区域整理	H-13.1.23-H-13.3.22	財团法人千葉県文化財団 七つの原	農務部長 西山木山郎 農務部長 阿久那 農務部長 田中明 農務部長 佐藤一	11,800 1,280 11,800	11,800 1,280 11,800	0 0 0	
(6)	平成13 度	千葉県立農業公園開拓地(土地)区域整理	H-13.10.26-H-13.12.13	財团法人千葉県文化財団 七つの原	農務部長 西山木山郎 農務部長 阿久那 農務部長 田中明 農務部長 佐藤一	10,079 1,910 10,079	10,079 1,910 10,079	- - -	
(7)	平成14 度	千葉県立農業公園開拓地(土地)区域整理	H-14.1.22-H-14.3.27	財团法人千葉県文化財団 七つの原	農務部長 西山木山郎 農務部長 阿久那 農務部長 田中明 農務部長 佐藤一	11,800 1,280 11,800	11,800 1,280 11,800	0 0 0	
(7)-2	平成15 度	千葉県立農業公園開拓地(土地)区域整理	H-15.1.6-H-15.6.29	財团法人千葉県文化財団 七つの原	農務部長 西山木山郎 農務部長 阿久那 農務部長 田中明 農務部長 佐藤一	412 412 412 412	412 412 412 412	3,043 3,043 3,043 3,043	
(8)	平成15 度	千葉県立農業公園開拓地(土地)区域整理	H-15.7.1-H-15.7.6	財团法人千葉県文化財団 七つの原	農務部長 西山木山郎 農務部長 阿久那 農務部長 田中明 農務部長 佐藤一	413 68 413 68	413 68 413 68	0 0 0	
(9)	平成15 度	千葉県立農業公園開拓地(土地)区域整理	H-15.7.21-H-15.9.29	財团法人千葉県文化財団 七つの原	農務部長 西山木山郎 農務部長 阿久那 農務部長 田中明 農務部長 佐藤一	2,654 282 2,654 282	2,654 282 2,654 282	0 0 0	
(10)	平成16 度	千葉県立農業公園開拓地(土地)区域整理	H-16.10.1-H-16.11.6	財团法人千葉県文化財団 七つの原	農務部長 西山木山郎 農務部長 阿久那 農務部長 田中明 農務部長 佐藤一	280 286 280 286	286 286 286 286	28 28 28 28	
(11)	平成16 度	千葉県立農業公園開拓地(土地)区域整理	H-16.11.28-H-16.12.3	財团法人千葉県文化財団 七つの原	農務部長 西山木山郎 農務部長 阿久那 農務部長 田中明 農務部長 佐藤一	2,667 376 2,667 376	2,667 376 2,667 376	0 0 0	
(12)	平成16 度	千葉県立農業公園開拓地(土地)区域整理	H-16.12.5-H-16.12.20	財团法人千葉県文化財団 七つの原	農務部長 西山木山郎 農務部長 阿久那 農務部長 田中明 農務部長 佐藤一	535 610 535 610	535 610 535 610	0 0 0	
(13)	平成16 度	千葉県立農業公園開拓地(土地)区域整理	H-16.12.20-H-16.12.30	財团法人千葉県文化財団 七つの原	農務部長 西山木山郎 農務部長 阿久那 農務部長 田中明 農務部長 佐藤一	1,755 1,755 1,755 1,755	1,755 1,755 1,755 1,755	0 0 0 0	
(14)	平成16 度	千葉県立農業公園開拓地(土地)区域整理	H-16.12.30-H-16.12.31	財团法人千葉県文化財団 七つの原	農務部長 西山木山郎 農務部長 阿久那 農務部長 田中明 農務部長 佐藤一	- - - -	- - - -	- - - -	
(15)	平成17 度	千葉県立農業公園開拓地(土地)区域整理	H-17.1.1-H-17.1.31	千葉県立農業公園開拓地(土地)区域整理 七つの原	農務部長 西山木山郎 農務部長 阿久那 農務部長 田中明 農務部長 佐藤一	2,668 280 2,668 280	2,668 280 2,668 280	0 0 0	
(15)-2	平成17 度	千葉県立農業公園開拓地(土地)区域整理	H-17.2.5-H-17.5.30	千葉県立農業公園開拓地(土地)区域整理 七つの原	農務部長 西山木山郎 農務部長 阿久那 農務部長 田中明 農務部長 佐藤一	- - - -	- - - -	- - - -	
(16)	平成18 度	千葉県立農業公園開拓地(土地)区域整理	H-18.1.21-H-18.3.12	千葉県立農業公園開拓地(土地)区域整理 七つの原	農務部長 西山木山郎 農務部長 阿久那 農務部長 田中明 農務部長 佐藤一	2,657 285 2,657 285	2,657 285 2,657 285	0 0 0	
(16)-2	平成18 度	千葉県立農業公園開拓地(土地)区域整理	H-18.3.20-H-18.5.30	千葉県立農業公園開拓地(土地)区域整理 七つの原	農務部長 西山木山郎 農務部長 阿久那 農務部長 田中明 農務部長 佐藤一	- - - -	- - - -	- - - -	
		合計				76,006 9,063 76,006 9,063	76,006 2,666 76,006 2,666	76,006 2,666 76,006 2,666	

【市町村合字久保遭跡発掘調査】

測量次 年数	事業 名	測量面積	測量範囲	測量体制	測量方法		測量者 (人)	測量調査 上層		測量調査 下層	
					測量員	対象測量 標高測量		対象測量 標高測量	対象測量 標高測量	対象測量 標高測量	
(14) 平成23 予報点付土壌剖面(くぼえクヌクヌアレルス)沿線 地盤変遷	財团法人千葉県教育監督室 西認定会事務所 所長 岩田道哉	月21.05.9 -H23.11.3	財团法人千葉県教育監督室 西認定会事務所 所長 岩田道哉	測量部長 矢川吉一 測量部長 矢川吉一 測量部長 矢川吉一	125	125 / 125 / 125 /	125	12 / 12 / 12 /	125	125	0
合計					125	125 / 125 / 125 /	125	12 / 12 / 12 /	125	125	0

【整理作業】

測量名	年数	事業名	測量名	測量	測量体制	測量	測量者 (人)	作業内因
平成21		千葉県土壌調査(くぼえクヌクヌアレルス)沿線地盤変遷	H22.1.28~H22.3.31	会社財团法人千葉県教育監督室	西認定会事務所	西認定会事務所	-	未決・自己
平成29		運動公園用地(区土地)地盤変遷(西認定会事務所)	H29.4.17~H29.5.30	千葉県教育行政教育施設西認定会事務所	西認定会事務所	西認定会事務所	-	未決・自己
平成30		運動公園用地(区土地)地盤変遷(西認定会事務所)	H30.5.1~H30.5.31	千葉県教育行政教育施設西認定会事務所	西認定会事務所	西認定会事務所	-	未決・自己
平成31・令和元 (16) 2	平成31・令和元 (16) 2	運動公園用地(区土地)地盤変遷(西認定会事務所)	H31.4.15~H1.5.30	千葉県教育行政教育施設西認定会事務所	西認定会事務所	西認定会事務所	-	未決・自己
令和2		運動公園用地(区土地)地盤変遷(西認定会事務所)	H.2.4.16~H.2.5.31	千葉県教育行政教育施設西認定会事務所	西認定会事務所	西認定会事務所	-	未決・自己
令和3		運動公園用地(区土地)地盤変遷(西認定会事務所)	H.3.4.16~H.3.7.15	千葉県教育行政教育施設西認定会事務所	西認定会事務所	西認定会事務所	主任 田中丈文 副主任 田中丈文 主任 田中丈文 副主任 田中丈文 主任 田中丈文 副主任 田中丈文	主任 田中丈文 副主任 田中丈文 主任 田中丈文 副主任 田中丈文 主任 田中丈文 副主任 田中丈文
平成7・平成7・平成7 (14)	平成7・平成7・平成7 (14)	千葉県土壌調査(くぼえクヌクヌアレルス)沿線地盤変遷	H22.1.28~H22.3.31	会社財团法人千葉県教育監督室	西認定会事務所	西認定会事務所	-	未決・自己
令和2		運動公園用地(区土地)地盤変遷(西認定会事務所)	H.3.4.16~H.3.7.15	千葉県教育行政教育施設西認定会事務所	西認定会事務所	西認定会事務所	主任 田中丈文 副主任 田中丈文	主任 田中丈文 副主任 田中丈文



第8図 遺跡の位置と周辺の遺跡 (S=1 : 25,000)

第2表 周辺遺跡一覧表

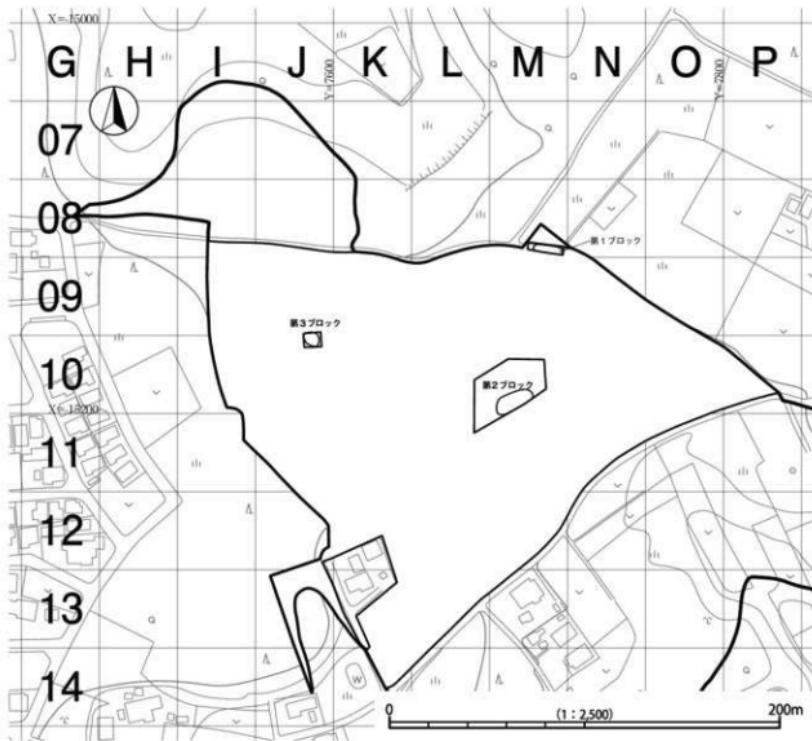
番号	遺跡名	時代	番号	遺跡名	時代
1	思母原ノ内遺跡	旧石器、縄文(早・中・後)、古墳(中)、奈良・平安、中世	72	上日原大門遺跡	縄文(前)、後、平安
2	西平井根鶴道跡	縄文、中世	73	朝ヶ谷後背遺跡	旧石器、縄文(前)、後、平安
3	西平井二所遺跡	縄文、中世	74	大町山遺跡	縄文(前)、古墳、中世
4	甲子ノ台遺跡	平安、中近世	75	西町石室山遺跡	縄文(前)、中・後)、近世
5	思母原ノ内遺跡	旧石器、縄文(早・中・後)、古墳、奈良・平安、中世	76	古山東遺跡	旧石器、縄文、奈良、平安
6	西平井大門遺跡	縄文	77	東松石山丁目第1遺跡	旧石器、縄文(前・後)、平安
7	思母原の見石遺跡	縄文(早・中)、古墳、近世	78	「十夫大」遺跡	縄文(早・中・後)、平安、近世
8	勝・坂原の見石遺跡	古墳(後)	79	東松石山丁目第1遺跡	旧石器、縄文(中・後)、平安、近世
9	勝・坂原の見石遺跡	古墳(後)	80	「十夫大」遺跡	縄文(早・中・後)、平安
10	勝・坂原ノ内遺跡	古墳(後)	81	湖田坪山遺跡	縄文(中)
11	勝・坂原ノ内遺跡	古墳(後)	82	野木本村號遺跡	縄文(前)
12	平野の遺跡	縄文(中)、古墳、平安、中近世	83	寺田貝塚	旧石器、縄文(前・中・後)、古墳
13	丸岡神社遺跡	縄文(早)、古墳(後)、平安	84	中瓦遺跡	弥生(後)、古墳(中・後)
14	宮本遺跡	縄文(中)、平安	85	高六神遺跡	縄文(早・中・後)、平安
15	南平井遺跡	縄文(中)、平安	86	七日山(中)遺跡	縄文(前)、古墳(中)
16	南平井中通遺跡	古墳(後)、奈良、平安	87	中金村の遺跡	縄文(中)
17	古河木山下山遺跡	縄文(前)、平安	88	中の山遺跡	縄文(早・中)、佐生、古墳(中・後)、平安
18	古河木垂ノ坂	近世	89	野賀遺跡	縄文(前)
19	古河木山下山第2遺跡	縄文、古墳(後)、奈良、平安	90	野賀内里遺跡	縄文(中)
20	荒川第2号古墳遺跡	古墳	91	野賀貝塚	旧石器、縄文(前・中・後)、中世
21	荒川大門遺跡	縄文(中)、古墳、平安	92	野賀町内遺跡	旧石器、縄文(早・中)、古墳(前・後)、近世
22	荒川第1号古墳遺跡	古墳	93	野賀町白山遺跡	古墳
23	古河木旁貢御家第1遺跡	縄文(前)、中)、平安	94	小谷(小金城跡)	縄文、古墳、平安、中世
24	古河木旁貢御家第2遺跡	縄文(後)、平安	95	小谷古墳群	古墳
25	加賀田遺跡・佐野多連隊屋跡	先人(中)、古墳(後)、近世	96	西(小金)(北小金)遺跡	縄文(中・後)
26	加賀原遺跡	古墳、奈良、平安	97	堺外堀遺跡	旧石器、縄文(前)
27	加賀市第1号古墳	旧石器、縄文、平安	98	湖ノ上(湖の脇)遺跡	旧石器、縄文(早・中・後)、古墳(中・後)
28	加賀原遺跡	縄文(中)、中世	99	堺北(北小金付近)遺跡群	縄文(前)、後)
29	中川所遺跡	旧石器、縄文(草・茎、中・後)、奈良・平安、中近世	100	山下遺跡	縄文(中)
30	野々下西方面遺跡	縄文(前・中)	101	熊ノ脇遺跡	縄文(早・中・中)
31	野々下大原遺跡	縄文(後)、平安	102	平谷城跡	中世
32	野々下山中遺跡	縄文(前)、平安	103	轟音丘遺跡	縄文(後)
33	野々下平尾	縄文(前)、中・後)、後	104	浜田遺跡	縄文(後)、平安、近世
34	野々下根崎橋1号古墳	平安	105	馬場城跡	中世
35	野々下根崎橋2号古墳	縄文(後)、平安	106	上野台(二ツ木和合台)遺跡	弥生(後)
36	野々下藤原塚遺跡	縄文(後)、平安	107	二ツ木和合台(二ツ木)二ツ木	縄文(早・中・後)、奈良(後)、古墳(後)
37	古河木旁東・古谷遺跡	縄文(早・中・後)、後)	108	野寺原遺跡	縄文(早・中)、古墳(後)
38	古河木邊山田遺跡	縄文(前)	109	入戸遺跡	縄文(前)
39	加賀津第1号古墳	縄文、古墳、平安	110	喜見向(1)遺跡	縄文(前)
40	加賀津第1号古墳	旧石器、縄文、平安	111	長崎丸山元氣遺跡	縄文(中)、古墳(中・後)
41	加賀津第2号古墳	縄文、平安	112	喜見向(2)遺跡	縄文(中・後)
42	三野山八幡原ノ坂遺跡	縄文(早)、平安	113	長崎丸山遺跡	縄文(中)
43	三野山八幡原ノ坂	縄文、古墳、平安	114	新崎城跡	近世
44	三野山長坂遺跡	縄文(後)、後)	115	長崎丸山城跡遺跡	縄文(前)、中)、平安
45	梅野山月坂	旧石器、縄文(中・後)、古墳(後)、後)	116	長崎遺跡	縄文(早・中・後)
46	梅野山八幡原遺跡	縄文、古墳、平安、云々	117	長崎金森遺跡	古墳、平安
47	赤坂地蔵堂ノ坂遺跡	古墳(後)、平安	118	野々下出田遺跡	縄文(早・中・後)
48	赤坂谷内奥ノ坂遺跡	縄文	119	野々下元子山遺跡	縄文(中・後)、古墳(後)、平安
49	赤坂谷内奥1号古墳	縄文(前)、中)、古墳(中・後)	120	野々下子山内遺跡	縄文(中)
50	赤坂谷内奥2号古墳	縄文	121	野々下遺跡	縄文(中・後)、平安
51	赤坂谷内中島遺跡	縄文	122	野々坂城跡	中世
52	赤坂谷内中島遺跡	旧石器、縄文(早・中・後)、古墳(中・後)、後)、奈良、平安、中世	123	野々坂跡	縄文(前)
53	梅野山2号古墳遺跡	縄文、古墳、平安、中世	124	野柳城跡	中世
54	三野山宮山遺跡	縄文(前)、古墳(後)、近世	125	酒匂南遺跡	縄文(前)、平安、近世
55	梅野山第2遺跡	縄文(古墳)、平安、近世	126	日原(1)遺跡	縄文(中)、平安、古墳
56	梅野山北山遺跡	旧石器、縄文(中・後)、古墳、平安、近世	127	名留雪舟解茶遺跡	縄文(前)、中)、平安
57	赤坂平入古墳遺跡	旧石器、縄文(草・茎、中・後)、古墳(後)、中世	128	名留雪舟木跡	縄文(中)、平安
58	赤坂谷内2号古墳遺跡	旧石器、縄文(草・茎、中・後)、古墳(後)、奈良、平安、近世	129	名留雪舟ノ脇遺跡	縄文(中)
59	赤坂谷内2号古墳遺跡	旧石器、縄文(草・茎、中・後)、古墳(後)、奈良、平安、近世	130	日原(2)遺跡	縄文(中)
60	赤坂谷2号古墳遺跡	旧石器、縄文(草・茎、中・後)、古墳(後)、近世	131	猪木内遺跡	中古世
61	赤坂谷2号古墳遺跡	旧石器、縄文(草・茎、中・後)、奈良、近世	132	猪木内古跡	縄文(前)、中・後)、中古世
62	赤坂谷尻古墳遺跡	旧石器、縄文(草・茎、中・後)、古墳(後)、奈良、平安	133	行ヶ台城跡・行ヶ台城跡	縄文(早・中・後)、古墳(中・後)、中世
63	西相模五丁目遺跡	旧石器、縄文(草・茎、中・後)、古墳(後)、奈良、平安	134	久保平賀(猪木向山)遺跡	古墳
64	三野山向山古墳	縄文(前)、奈良、古墳(前)	135	久保平賀古墳	古墳
65	大木内西遺跡	縄文(早・中)、平安	136	二ツ木和合台遺跡	縄文(前)
66	大木中ノ胡別跡	縄文(早・中)、平安	137	妙満遺跡	旧石器、縄文(前)、古墳(中)
67	花輪城跡	中世	138	波山塚山遺跡	奈良
68	下野松原下遺跡	縄文(後)、古墳(後)	139	上日原塚	旧石器、縄文(前)、中・後)、中近世
69	下野松原丹青遺跡	旧石器、縄文(草・茎、中・後)、奈良、古墳(後)、奈良、平安、中世	140	三輪山(野馬)土手	古墳
70	下野松山西山遺跡	縄文、古墳(中世)	141	猪木野馬土手	古墳
71	下野松原丹青遺跡	縄文(中・後)、平安、近世	142	西野谷猪木野馬土手	古墳

第2章 旧石器時代

第1節 概要

市野谷宮後遺跡北側の旧石器時代の調査では、平成18年度および平成19年度、平成21年度に実施した3回の調査（市野谷宮後遺跡（5）・（6）・（10））において、3か所の石器集中地点（ブロック）が検出された（第3・9図）。

本遺跡で検出されたブロックは、出土層位に基づき、2枚の文化層に区分される。第1文化層はⅥ～Ⅶ層を中心として遺物が出土し、第1ブロックと第2ブロックが該当する。第2文化層はⅢ層を中心とした文化層で、第3ブロックが該当する。



第9図 市野谷宮後遺跡（北側）・市野谷芋久保遺跡下層全測図

第2節 基本土層（第10図、図版2）

本遺跡における立川ローム層の堆積状況は、西側および南側に向かって傾斜し、遺跡西部で一部ローム層が堆積していない場所があったが、下総台地で広く観察される基本層序と概ね共通している。以下に各層の概略について記す。

III 層：暗褐色土の軟質ローム層である。

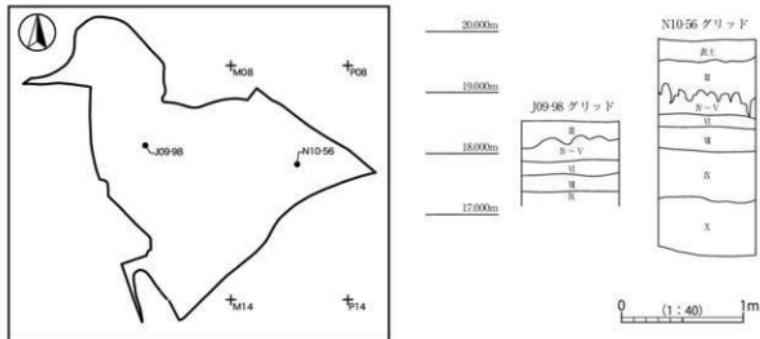
IV～V層：硬質ローム層である。IV層に相当する部分は一部軟質化している。下部はV層にあたり、立川ロームV層の第1黒色帯に相当すると思われるが、上下の層より若干暗い色調を呈するのみで、不明瞭である。

VI 層：硬質ローム層である。黄褐色であり、AT（始良丹沢火山灰）を含む層である。黒色スコリアが認められる。

VII 層：硬質ローム層である。黒色・橙色スコリアが認められる。色調はやや暗く、暗褐色である。

VIII 層：硬質ローム層である。暗い色調を呈し、しまりのある黒色土層である。黒色・赤色・橙色スコリアが認められ、下部ほど多く含まれる。

X 層：硬質ローム層である。粘性の強い灰褐色土層であり、乳白色スコリアが認められる。



第10図 下層基本土層図

第3節 石器群の分布と出土遺物

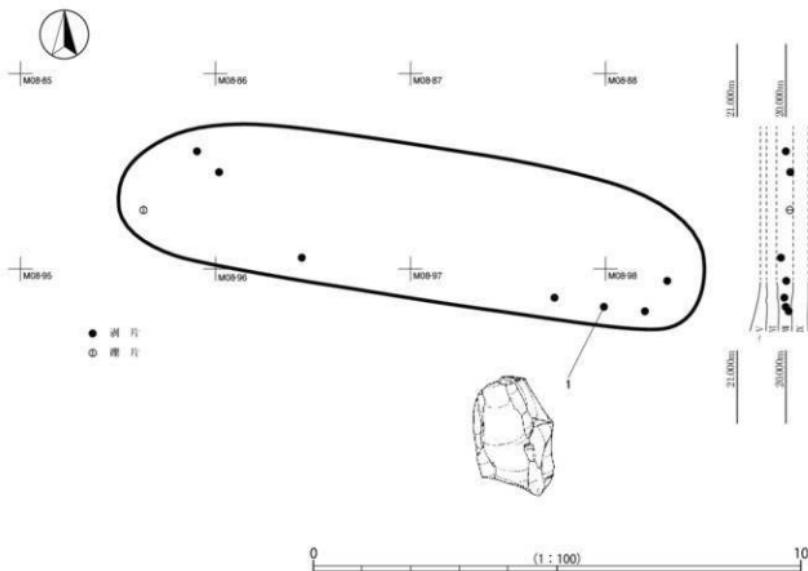
1 第1文化層

(1) 第1ブロック（第11～13図、第3・6表、図版2・3）

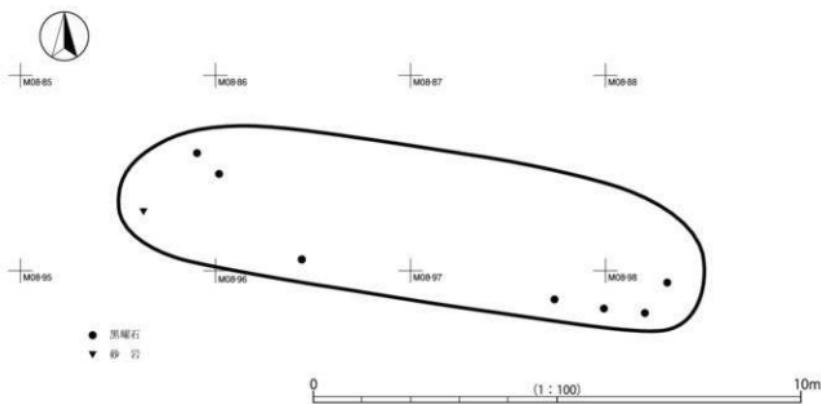
概要 第1ブロックは、M08グリッドに位置する。石器群は8m×12mほどの範囲から出土した。出土層位はすべてⅧ層である。

ブロックの内容は、剥片8点と礫片1点で、計9点が出土した。剥片はすべて信州産黒曜石製であった。礫片は砂岩である。

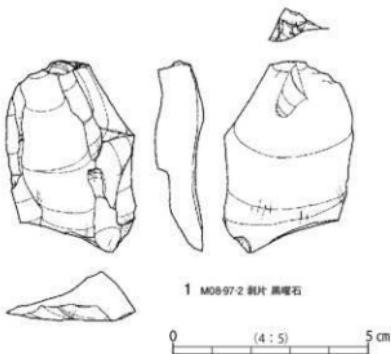
出土遺物 1はやや幅広な剥片である。石材は信州産黒曜石と考えられる。上下から小型の縦長剥片を作出するための剥離が行われている。上部の打面には調整が施されている。



第11図 第1ブロック器種別分布



第12図 第1ブロック石材別分布



第13図 第1ブロック出土遺物

第3表 第1ブロック石器組成表

母岩名/器種名	剥片	点数	重量(g)
黒曜石(信州)		8	21.97

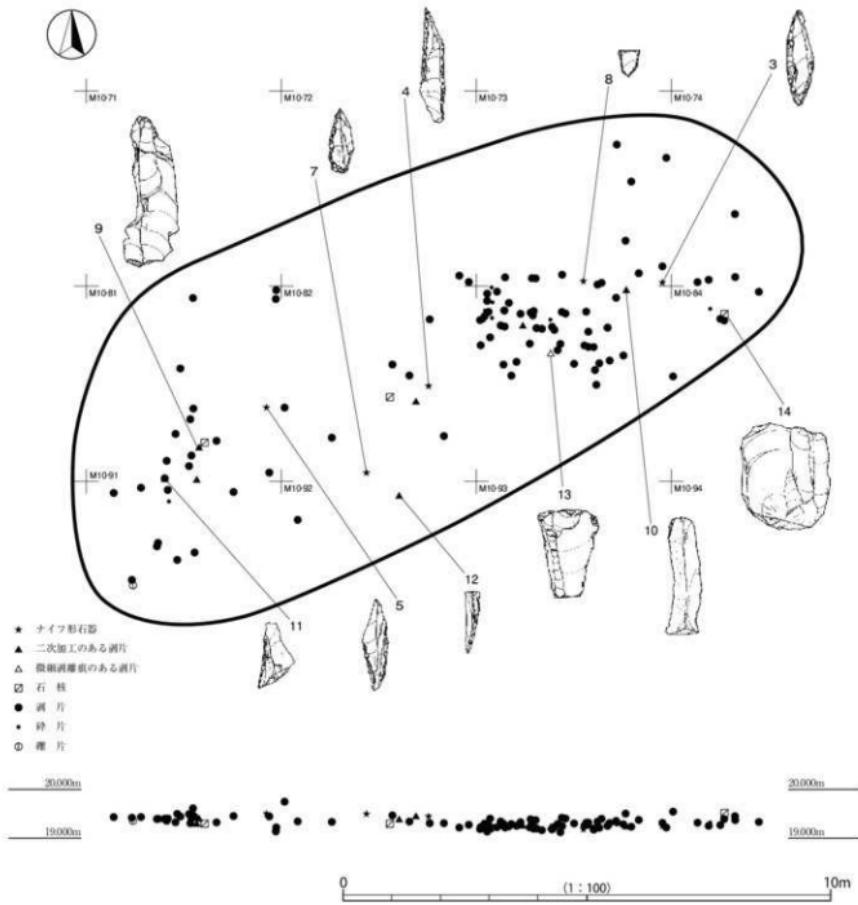
(2) 第2ブロック(第14~18図、第4・6表、図版2・3)

概要 第2ブロックは、M10グリッドに位置する。石器群は15m×10mほどの範囲から出土した。調査時の記録によると遺物の出土層位はIV~VII層とあるが、発掘調査時の写真などからみるとVI~VII層を主体としていると考えられる。ブロックは東西に広がり、東西でわざかな出土位置の上下がある。2ブロックに分かれることも考えられるが、石材や器種に大きな違いはなく、分けることは困難であったため、1つのブロックとして報告する。

ブロックの内容は、ナイフ形石器8点、二次加工のある剥片7点、微細剥離痕のある剥片1点、石核3点、剥片120点、碎片14点、礫片1点の計154点である。石材は黒曜石が153点、石英斑岩が1点で、黒曜石を主体とするブロックである。黒曜石はほとんどが透明度の高い信州産黒曜石である。

出土遺物 1~8はナイフ形石器である。1は細身の棱付き剥片を利用したナイフ形石器である。打面側を基部とし、基部には調整が施されている。左側面の先端部には対向調整剥離がみられ、刃部には基部を除く広範囲に微細剥離痕が認められる。2は縦長剥片の打面側を先端部としたナイフ形石器である。素材とした剥片は末端部がねじれているため、基部が裏面側に巻き込まれるようになっている。右側縁と左側縁先端部に調整加工が施されている。3・4・5は細身のナイフ形石器で、先端と基部の両側が先鋒に作出されている。3は素材の打面側を基部とし、左側縁および基部を中心に調整剥離が施され、先端部には対向調整剥離が確認できる。4は縦長剥片の打面側を基部として、周囲に調整加工を行っている。先端部と右側縁下半部は裏面から、左側縁下半部は正面から調整が施され、器体の中半の両側縁は裏面から調整が施されているため、左側縁は鋸歯状である。5は縦長剥片を素材とし、打面側を先端部としている。右側縁および基部に急斜度な調整加工が施されている。6は扁平なナイフ形石器である。打面側を基部とし、左側縁の全体と右側縁の一部、基部に急斜度な調整が施されている。先端部は折れにより欠損する。7は小型のナイフ形石器である。素材の打面側を基部とし、基部および左側縁に調整加工が施されている。基部は調整加工により丸みを帯びている。8はナイフ形石器の基部である。素材の打面側を基部とし、基部の周囲に急斜度な調整加工が施されている。

9は下部が分厚な剥片で、左側縁上部に二次加工が認められる。また、上部には微細剥離痕が確認できる。上部には頭部調整、下部には頭部調整や打面調整がみられ、180°打面を転移しながら剥離が進められていたことが推測される。10は左側縁上部に平坦な調整剥離が施された、二次加工のある縦長剥片である。右側縁全体に微細剥離痕がみられる。打面や裏面と比較して正面の剥離面の風化が著しく、棱線の摩耗も激しいことから、遺跡に持ち込まれた際の石核表面であったと考えられる。11は左側縁に連続した平坦な調整加工がみられる、二次加工のある剥片である。上下を折れにより欠損している。12は棱付き剥片であ

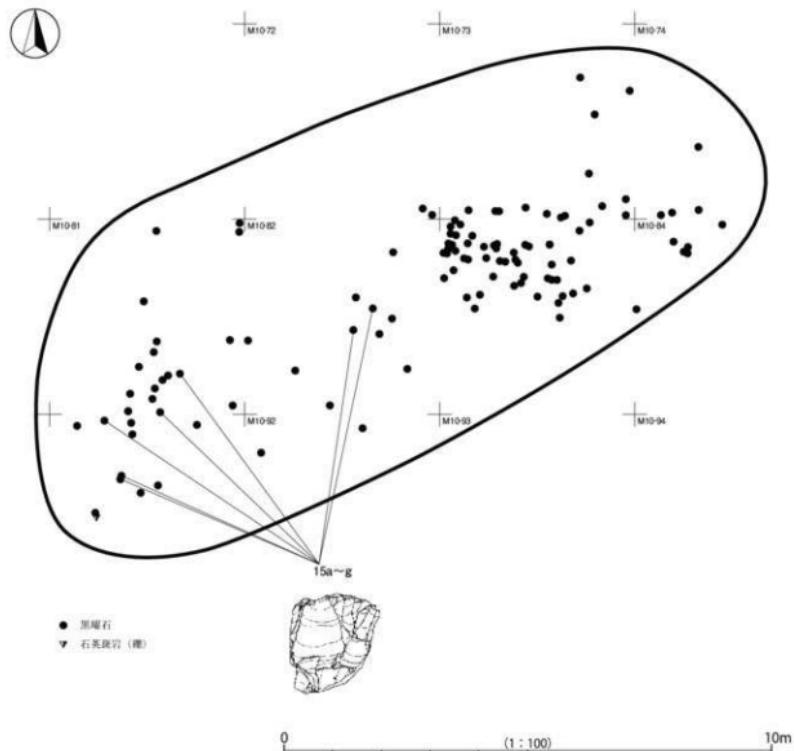


第14図 第2ブロック器種別分布

る。打面側を折れにより欠損する。1のナイフ形石器に使用されたものと同様の剥離がなされており、同程度の大きさであった可能性がある。下部の側面には対向調整剥離が施されているが、微細剥離痕は認められなかった。

13は微細剥離痕のある剥片である。両側縁に微細剥離痕が見られる。縦長剥片であったと考えられるが、下部を折れにより欠損する。

14は石核である。打面調整剥離および正面右上からの剥離、裏面下部からの剥離以外の部分は、風化の



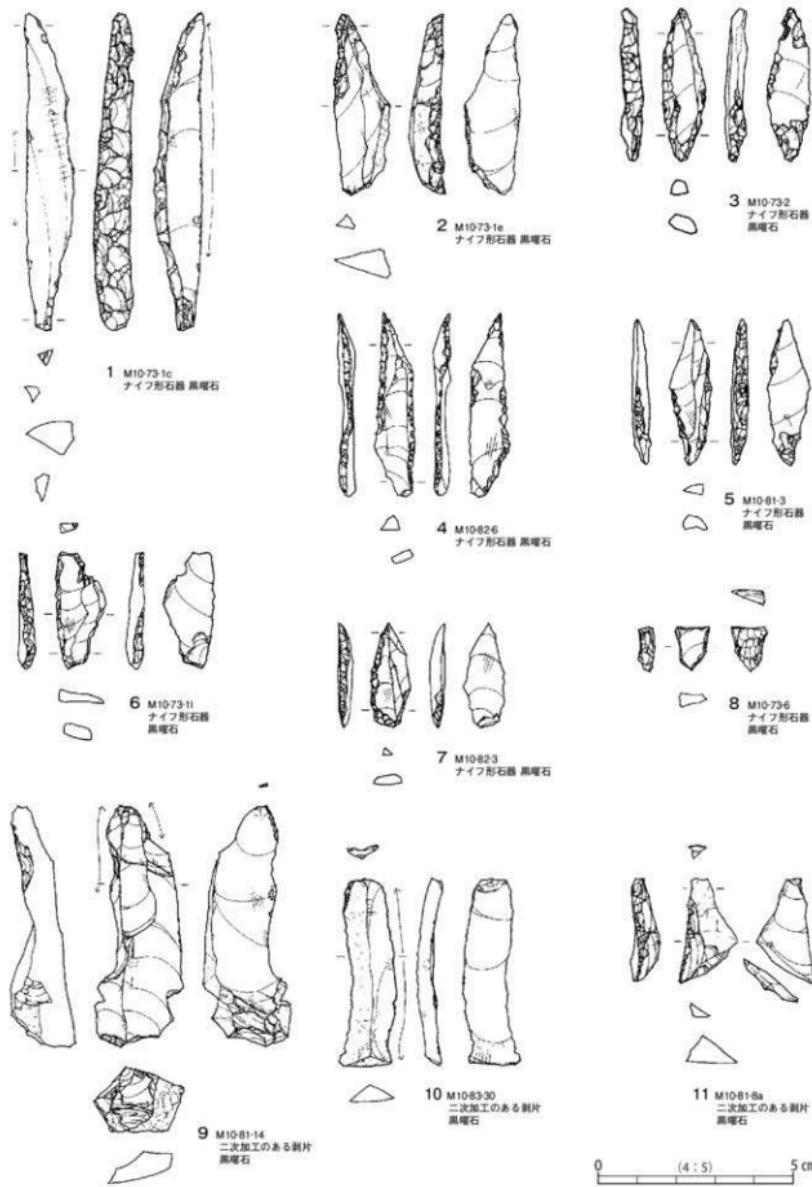
第15図 第2ブロック石材別分布

第4表 第2ブロック石器組成表

母岩名/器種名	ナイフ形 石器	二次加工の ある剥片	微細剥離痕の ある剥片	石核	剥片	碎片	点数	重量(g)
黒曜石(信州)	8	7	1	3	120	14	153	328.95

度合いや縁辺の擦れた状態から剥離の時期がかなり前であると考えられる。裏面をほぼ自然面とした分厚い縦長剥片の状態で搬入された素材を石核として利用している。

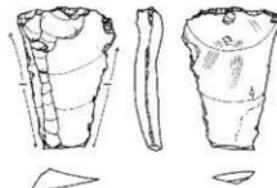
15(a~g)は接合資料である。二次加工のある剥片1点と石核1点、剥片5点が接合している。両設打面の接合資料で、上部を打面として15aおよび15bを剥離したのち、下部に180°打面を転移して15cを剥離している。その後も打点を上下に転移し、頭部調整や末端部への調整を施しながら、15d・15e・15fなどの小型の縦長剥片を剥離している。このうち、15dには二次加工が施されている。また、15eの下部には稜上調整が認められる。



第16図 第2ブロック出土遺物（1）



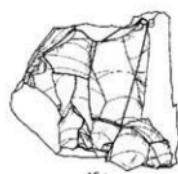
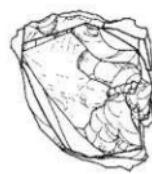
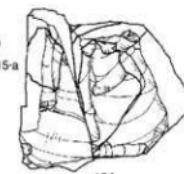
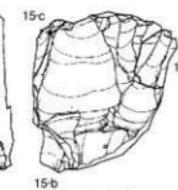
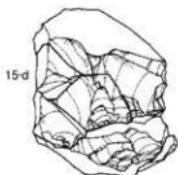
12 M10-92-4
二次加工のある剥片
黒曜石



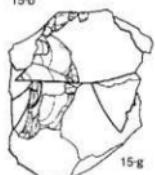
13 M10-63-27
背面削離面のある剥片 黒曜石



15 黒曜石 接合資料

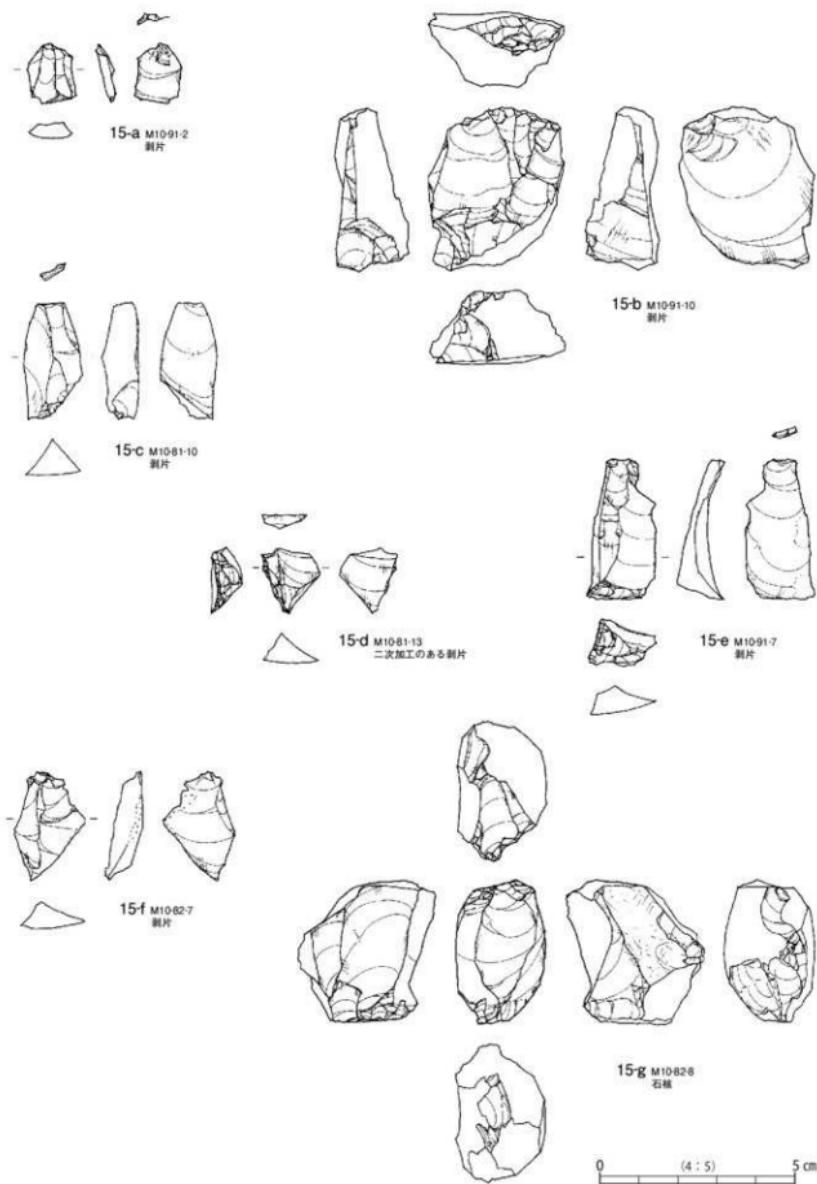


14 M10-64-2
石核 黒曜石



0 (4 : 5) 5 cm

第17図 第2ブロック出土遺物（2）



第18図 第2ブロック出土遺物（3）

2 第2文化層

(1) 第3ブロック（第19~22図、第5・6表、図版2・4）

概要 第3ブロックは、J09・J10ブロックに位置する。石器群は約8m×8mの範囲から出土した。出土層位はⅢ~Ⅵ層上部にかけてで、ソフトロームのⅢ層下部に集中している。

ブロックの内容は、ナイフ形石器3点、石核4点、剥片37点、礫片2点で、計46点が出土した。石材は、頁岩18点、チャート2点、ガラス質黒色安山岩24点、砂岩2点である。

出土遺物 1~3はナイフ形石器で、1・2はガラス質黒色安山岩製のナイフ形石器である。どちらも縦長剥片を素材とし、打面側を基部としている。1は基部と左側縁に調整加工が施されている。側縁の調整加工は急斜度に施されている。2は平坦な調整剥離によって先端部を作出している。左側縁の基部にも平坦な調整が施されている。3は小型のナイフ形石器である。単独母岩で搬入された頁岩製である。打点側を基部とし、先端部と右側縁に急斜度の調整加工が施されている。左側縁の下部にはわずかに微細剥離痕が認められる。

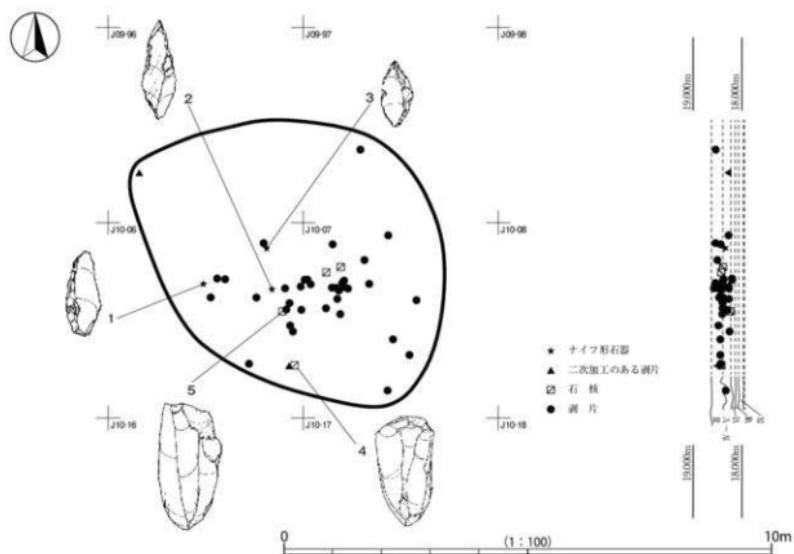
4・5は石核で、どちらもガラス質黒色安山岩製である。4は正面を作業面とした石核である。打面調整や頭部調整はほとんどなく、上部から縦長剥片を連続して剥離している。5は縦長剥片を複数剥離したあとの残核と考えられる。正面を作業面として剥離を進めていたが、右上から階段状の剥片を剥離したのを最後に剥離が終了している。

6(a+b)は接合資料である。頁岩の剥片2点が接合している。正面には素材面が残っている。6aには主要剥離面に直行した方向の剥離が確認でき、打面が90°転移している。6aの打面に対し6bの打面は下にあり、6aの剥離後に打面調整が施されたと考えられる。このほかに接合関係は認められなかったが、同一母岩と考えられる剥片が4点出土している。

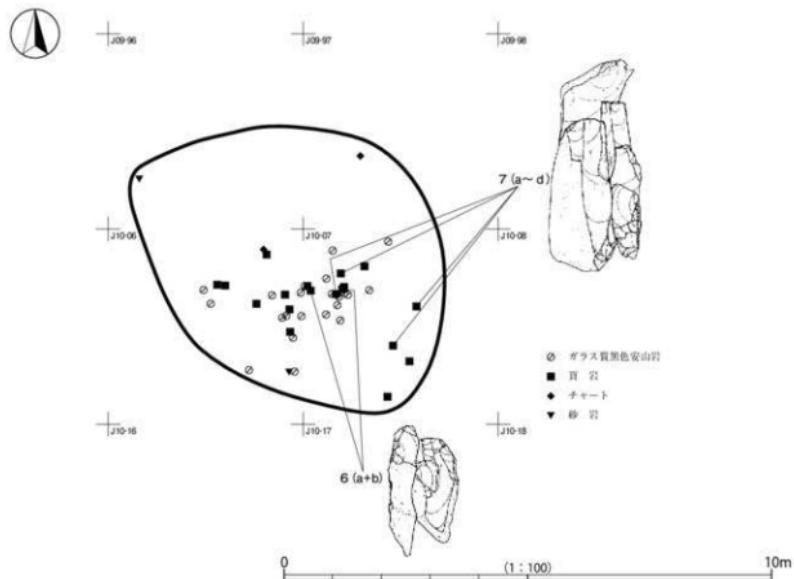
7(a~d)は接合資料である。頁岩の石核1点と剥片3点が接合している。素材面が大きく残り、母岩は握り拳大であると考えられる。何度も打面再生（7a）・頭部調整を施し、複数の小型縦長剥片（7b・7c）を剥離している。また、右下部分にも打面調整がみられ、7b・7cの剥離以前に、打面を180°転移し、剥離していたと考えられる。このほかに接合関係は認められなかったが、同一母岩と考えられる剥片が4点出土している。

第5表 第3ブロック石器組成表

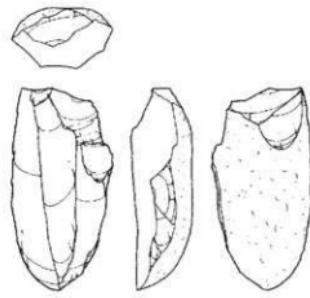
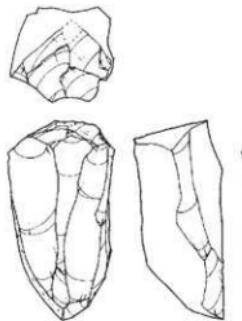
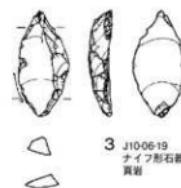
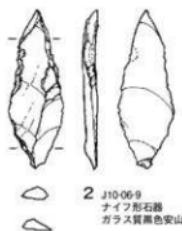
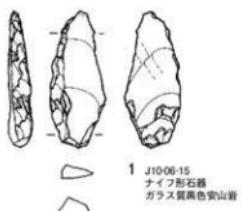
母岩名/器種名	ナイフ形石器	石核	剥片	点数	重量(g)	点数比	重量比
ガラス質黒色安山岩	2	3	19	24	276.37	54.6%	63.5%
頁岩1			1	4	79.58	11.4%	18.3%
頁岩2				6	16.37	13.7%	3.7%
頁岩3				2	17.08	4.5%	3.9%
頁岩4				2	2.05	4.5%	0.5%
頁岩(その他)	1			2	9.84	6.8%	2.3%
チャート				2	33.91	4.5%	7.8%
合計		3	4	37	435.20	100.0%	100.0%



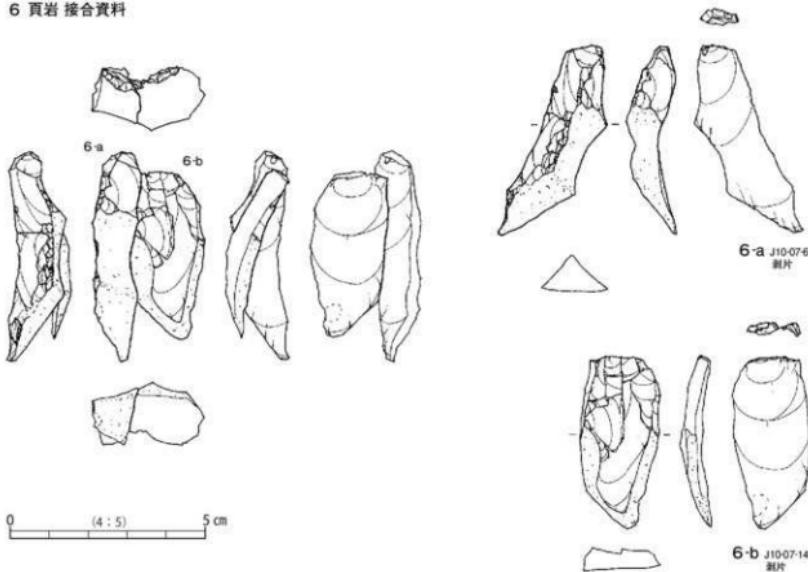
第19図 第3ブロック器種別分布



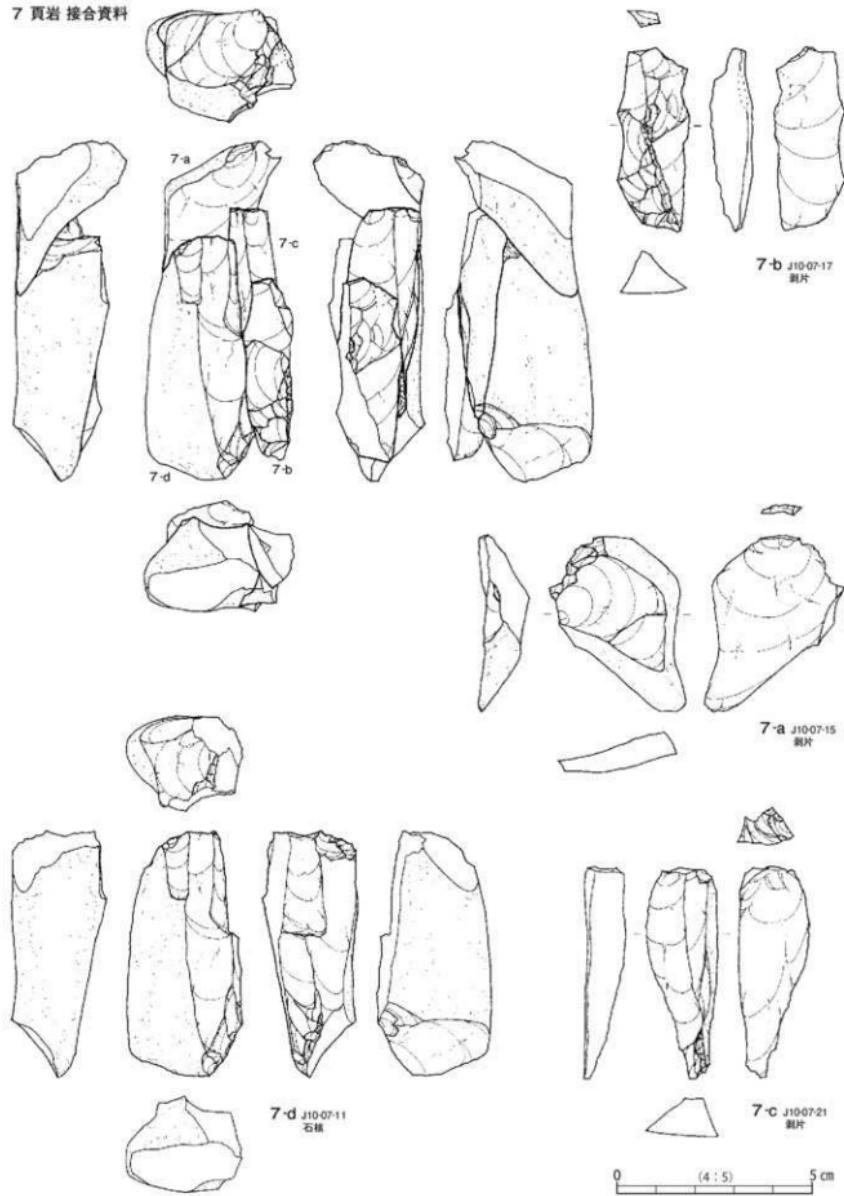
第20図 第3ブロック石材別分布



6 白岩 接合資料



第21図 第3ブロック出土遺物（1）

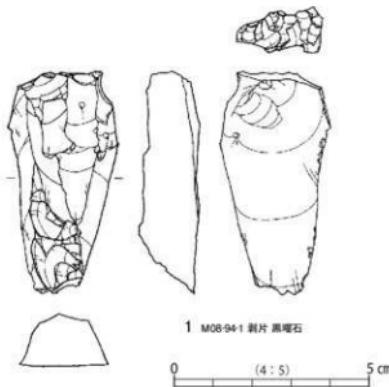


第22図 第3ブロック出土遺物（2）

3 その他の出土遺物 (第23図、第6表、図版4)

概要 ブロックから出土した遺物のほかに、上層構造やブロック外の調査中に旧石器時代に帰属すると判断した遺物が6点出土している。

出土遺物 1はやや厚い剥片である。信州産黒曜石製と思われる。上下から剥片を剥離していることが確認できる。上部には細かな打面調整がみられる。下部には稜上調整が施されている。



第23図 ブロック外出土遺物

第6表 旧石器時代出土石器属性表

分類	ブロック	採取番号	グリッド	遺物番号	枚記	器種	石材	母岩番号	接合番号	縦長	横幅	底厚	重量	備考
10	3	M08-95	2			剥片	黒曜石	信州		2.58	1.28	0.49	0.83	
10	3	M08-95	3			剥片	砂岩			-	-	1.13		
10	3	M08-96	2			剥片	黒曜石	信州		1.06	0.72	0.46	0.32	
10	3	M08-96	3	*		剥片	黒曜石	信州		1.24	2.00	0.25	0.47	
10	3	M08-96	3	b		剥片	黒曜石	信州		1.09	1.43	0.22	0.25	
10	3	M08-97	1			剥片	黒曜石	信州		3.64	1.12	1.33	3.25	
10	3	M08-97	2			剥片	黒曜石	信州		5.06	3.53	1.28	16.17	
10	3	M08-98	1			剥片	黒曜石	信州		0.68	1.01	0.23	0.12	
10	3	M08-98	2			剥片	黒曜石	信州		1.82	2.17	0.23	0.56	
6	2	M10-72	1			剥片	黒曜石	信州		2.82	2.42	0.85	2.96	
6	2	M10-72	2			剥片	黒曜石	信州		1.73	0.92	0.26	0.23	
6	2	M10-73	1	*		剥片	黒曜石	信州		4.76	2.41	1.29	14.06	
6	2	M10-73	1	b		剥片	黒曜石	信州		4.90	2.91	0.79	8.50	
6	2	第16周1	M10-73	1	c	ナイフ形石器	黒曜石	信州		8.02	1.21	0.88	7.99	
6	2		M10-73	1	d	剥片	黒曜石	信州		5.31	2.42	0.67	6.01	
6	2	第16周2	M10-73	1	e	ナイフ形石器	黒曜石	信州		4.60	1.59	0.86	3.80	
6	2		M10-73	1	f	剥片	黒曜石	信州		2.10	2.21	1.11	3.43	
6	2	M10-73	1	g	剥片	黒曜石	信州		0.88	2.34	1.06	2.11		
6	2	M10-73	1	h	剥片	黒曜石	信州		1.83	2.58	0.46	1.54		
6	2	M10-73	1	i	剥片	黒曜石	信州		2.42	2.56	0.56	1.49		
6	2	M10-73	1	j	剥片	黒曜石	信州		1.61	2.50	0.76	1.35		
6	2	M10-73	1	k	剥片	黒曜石	信州		2.94	1.09	0.41	1.21		
6	2	第16周6	M10-73	1	l	ナイフ形石器	黒曜石	信州		2.97	1.27	0.33	1.09	
6	2		M10-73	1	m	剥片	黒曜石	信州		1.67	1.36	0.49	0.79	
6	2	M10-73	1	n	剥片	黒曜石	信州		1.91	1.30	0.48	0.64		
6	2	M10-73	1	o	剥片	黒曜石	信州		1.30	1.10	0.46	0.59		
6	2	M10-73	1	p	剥片	黒曜石	信州		1.36	1.08	0.38	0.41		
6	2	M10-73	1	q	剥片	黒曜石	信州		1.22	1.56	0.21	0.31		
6	2	M10-73	1	r	剥片	黒曜石	信州		1.36	0.87	0.24	0.27		
6	2	M10-73	1	s	剥片	黒曜石	信州		1.55	1.04	0.24	0.23		
6	2	M10-73	1	t	剥片	黒曜石	信州		0.96	1.33	0.19	0.19		
6	2	M10-73	1	u	剥片	黒曜石	信州		1.50	0.57	0.29	0.17		
6	2	M10-73	1	v	剥片	黒曜石	信州		1.66	0.64	0.36	0.14		
6	2	M10-73	1	w	剥片	黒曜石	信州		0.63	1.07	0.24	0.14		
6	2	M10-73	1	x	剥片	黒曜石	信州		1.06	0.76	0.15	0.13		
6	2	M10-73	1	y	剥片	黒曜石	信州		1.36	0.48	0.23	0.12		
6	2	M10-73	1	z	剥片	黒曜石	信州		0.87	0.83	0.16	0.09		
6	2	M10-73	1	aa	剥片	黒曜石	信州		1.05	0.49	0.14	0.07		
6	2	M10-73	1	ab	剥片	黒曜石	信州		0.79	0.69	0.13	0.07		
6	2	M10-73	1	ac	砂片	黒曜石	信州		1.00	0.53	0.13	0.06		
6	2	M10-73	1	ad	砂片	黒曜石	信州		0.98	0.39	0.14	0.04		
6	2	M10-73	1	ae	砂片	黒曜石	信州		0.72	0.64	0.08	0.03		
6	2	M10-73	1	af	砂片	黒曜石	信州		0.72	0.63	0.10	0.03		
6	2	M10-73	1	ag	砂片	黒曜石	信州		0.77	0.35	0.09	0.02		
6	2	第16周3	M10-25	2		ナイフ形石器	黒曜石	信州		3.88	1.10	0.51	1.96	
6	2		M10-73	3		剥片	黒曜石	信州		2.06	0.96	0.25	0.26	
6	2	M10-73	4			剥片	黒曜石	信州		3.47	2.08	0.73	3.83	

測定 次数	ブロック	掉落番号	グリッド	遺物番号	柱記	器種	石材	母岩番号	接合番号	縦長	縦幅	最大厚	重量	備考	
6	2			M10-73	5	調片	黒曜石	信州		1.39	1.63	0.29	0.37		
6	2	第16回8		M10-73	6	ナイフ形石器	黒曜石	信州		1.14	0.91	0.41	0.37		
6	2			M10-73	7	調片	黒曜石	信州		1.23	1.40	0.52	0.87		
6	2			M10-73	8	調片	黒曜石	信州		2.50	1.14	0.22	0.36		
6	2			M10-73	9	調片	黒曜石	信州		1.79	1.52	0.29	0.62		
6	2			M10-73	10	調片	黒曜石	信州		1.45	2.26	0.75	1.34		
6	2			M10-73	11	調片	黒曜石	信州		4.49	2.92	0.87	4.74		
6	2			M10-73	12	調片	黒曜石	信州		2.54	0.74	0.47	0.64		
6	2			M10-73	13	調片	黒曜石	信州		3.95	0.86	0.29	0.53		
6	2			M10-73	14	調片	黒曜石	信州		1.31	0.71	0.20	0.19		
6	2			M10-73	15	調片	黒曜石	信州		1.07	0.99	0.28	0.11		
6	2			M10-74	2	調片	黒曜石	信州		2.01	2.56	0.55	1.63		
6	2			M10-74	3	調片	黒曜石	信州		2.15	2.13	0.53	2.15		
6	2			M10-74	4	調片	黒曜石	信州		2.83	1.04	0.39	1.22		
6	2			M10-74	5	調片	黒曜石	信州		2.59	1.14	0.53	1.14		
6	2			M10-81	1	調片	黒曜石	信州		2.24	1.38	0.48	0.81		
6	2			M10-81	2	調片	黒曜石	信州		2.26	1.43	0.63	1.20		
6	2	第16回5		M10-81	3	ナイフ形石器	黒曜石	信州		3.72	1.05	0.41	1.34		
6	2			M10-81	4	調片	黒曜石	信州		1.79	2.80	0.58	2.15		
6	2			M10-81	5	調片	黒曜石	信州		1.28	0.94	0.14	0.13		
6	2			M10-81	6	調片	黒曜石	信州		1.13	0.75	0.54	0.33		
6	2			M10-81	7	調片	黒曜石	信州		3.67	2.02	0.65	2.12		
6	2	第16回II		M10-81	8	a 二次加工のある調片	黒曜石	信州		2.58	1.76	0.80	1.55		
6	2			M10-81	8	b 調片	黒曜石	信州		1.44	1.79	0.31	0.20		
6	2			M10-81	9	調片	黒曜石	信州		2.12	0.66	0.24	0.20		
6	2	第18回15		M10-81	10	調片	黒曜石	信州	2-接1	2.91	1.53	0.98	2.47		
6	2			M10-81	11	石核	黒曜石	信州		3.05	4.41	2.46	25.33		
6	2			M10-81	12	調片	黒曜石	信州		1.82	0.99	0.28	0.31		
6	2	第18回15d		M10-81	13	二次加工のある調片	黒曜石	信州	2-接1	1.57	1.45	0.31	0.31		
6	2	第16回9		M10-81	14	二次加工のある調片	黒曜石	信州		6.26	2.35	1.67	13.03		
6	2			M10-81	15	調片	黒曜石	信州		1.70	0.98	0.34	0.23		
6	2			M10-81	16	調片	黒曜石	信州		2.20	1.25	0.21	0.28		
6	2			M10-81	17	調片	黒曜石	信州		2.29	0.71	0.27	0.31		
6	2			M10-82	1	調片	黒曜石	信州		3.42	2.59	1.08	6.66		
6	2			M10-82	2	調片	黒曜石	信州		6.58	2.26	1.10	13.13		
6	2	第16回7		M10-82	3	ナイフ形石器	黒曜石	信州		2.66	0.99	0.35	0.84		
6	2			M10-82	4	調片	黒曜石	信州		2.22	2.58	0.59	2.24		
6	2			M10-82	5	二次加工のある調片	黒曜石	信州		2.76	1.96	0.52	3.02		
6	2	第16回9		M10-82	6	ナイフ形石器	黒曜石	信州		4.69	1.34	0.36	1.40		
6	2	第16回4		M10-82	7	調片	黒曜石	信州	2-接1	2.88	1.82	0.78	2.09		
6	2	第18回15f		M10-82	8	石核	黒曜石	信州	2-接1	3.58	3.27	2.38	28.03		
6	2	第18回15g		M10-82	9	調片	黒曜石	信州		3.37	2.75	1.33	9.05		
6	2			M10-82	10	調片	黒曜石	信州		2.23	1.59	0.39	1.04		
6	2			M10-83	1	調片	黒曜石	信州		3.30	1.43	0.97	2.86		
6	2			M10-83	2	調片	黒曜石	信州		1.59	1.33	0.22	0.24		
6	2			M10-83	3	調片	黒曜石	信州		1.15	0.66	0.31	0.17		
6	2			M10-83	4	調片	黒曜石	信州		2.18	1.45	0.68	1.28		
6	2			M10-83	5	調片	黒曜石	信州		3.06	2.25	1.12	2.37		
6	2			M10-83	6	調片	黒曜石	信州		2.40	1.10	0.55	1.51		
6	2			M10-83	7	調片	黒曜石	信州		2.31	1.27	0.71	2.07		
6	2			M10-83	8	調片	黒曜石	信州		4.44	3.45	1.16	8.70		
6	2			M10-83	9	調片	黒曜石	信州		1.08	0.86	0.12	0.08		
6	2			M10-83	10	調片	黒曜石	信州		1.63	1.69	0.29	0.55		
6	2			M10-83	11	調片	黒曜石	信州		1.68	0.95	0.21	0.14		
6	2			M10-83	12	調片	黒曜石	信州		1.59	1.80	0.23	0.48		
6	2			M10-83	13	二次加工のある調片	黒曜石	信州		2.41	1.54	0.33	0.86		
6	2			M10-83	14	調片	黒曜石	信州		0.85	1.57	0.30	0.27		
6	2			M10-83	15	調片	黒曜石	信州		1.20	0.90	0.21	0.10		
6	2			M10-83	16	*	調片	黒曜石	信州		0.91	1.41	0.14	0.14	
6	2			M10-83	16	b 砕片	黒曜石	信州		1.08	0.35	0.09	0.06		
6	2			M10-83	17	調片	黒曜石	信州		2.81	1.38	0.38	0.72		
6	2			M10-83	18	調片	黒曜石	信州		1.07	0.39	0.20	0.08		
6	2			M10-83	19	調片	黒曜石	信州		1.63	1.56	0.33	0.39		
6	2			M10-83	20	調片	黒曜石	信州		2.35	1.98	0.39	1.31		
6	2			M10-83	21	*	調片	黒曜石	信州		2.56	2.11	1.04	3.25	
6	2			M10-83	21	b 調片	黒曜石	信州		1.31	0.70	0.24	0.18		
6	2			M10-83	22	調片	黒曜石	信州		2.37	1.03	0.59	1.03		
6	2			M10-83	23	調片	黒曜石	信州		0.99	1.71	0.37	0.33		
6	2			M10-83	24	調片	黒曜石	信州		5.10	1.77	0.75	4.09		
6	2			M10-83	25	調片	黒曜石	信州		2.38	1.36	0.22	0.40		
6	2			M10-83	26	調片	黒曜石	信州		2.64	1.44	0.52	1.87		
6	2	第17回13		M10-83	27	微細削痕のある調片	黒曜石	信州		3.64	2.50	0.56	4.15		
6	2			M10-83	28	調片	黒曜石	信州		2.26	1.16	0.46	0.90		
6	2			M10-83	29	調片	黒曜石	信州		1.82	1.93	0.53	1.30		
6	2	第16回10		M10-83	30	二次加工のある調片	黒曜石	信州		0.48	1.47	0.47	2.75		
6	2			M10-83	31	a 調片	黒曜石	信州		2.86	0.96	0.38	0.71		
6	2			M10-83	31	b 調片	黒曜石	信州		0.94	0.78	0.23	0.14		
6	2			M10-83	32	調片	黒曜石	信州		1.67	1.12	0.29	0.28		
6	2			M10-83	33	調片	黒曜石	信州		2.22	1.60	0.64	1.85		
6	2			M10-83	34	調片	黒曜石	信州		1.37	1.68	0.49	0.65		
6	2			M10-83	35	砂片	黒曜石	信州		2.27	1.68	0.34	1.08		
6	2			M10-83	36	砂片	黒曜石	信州		0.85	0.34	0.18	0.06		
6	2			M10-83	37	a 調片	黒曜石	信州		0.87	0.96	0.21	0.15		
6	2			M10-83	37	b 調片	黒曜石	信州		0.54	0.87	0.18	0.06		

調査 次数	ブロック	採取番号	グリッド	透水番号	柱記	器種	石材	母岩番号	接合番号	縦長	縦幅	最大厚	重量	備考
6	2	M10-K3	38	透片		碧璫石	信州			1.23	1.33	0.37	0.34	
6	2	M10-K3	39	透片		碧璫石	信州			1.25	1.48	0.43	0.52	
6	2	M10-K3	40	透片		碧璫石	信州			3.23	2.16	0.58	2.58	
6	2	M10-K3	41	透片		碧璫石	信州			1.36	0.51	0.08	0.05	
6	2	M10-K3	42	透片		碧璫石	信州			1.19	0.85	0.15	0.03	
6	2	M10-K3	43	透片		碧璫石	信州			1.31	0.77	0.13	0.07	
6	2	M10-K3	44	透片		碧璫石	信州			2.19	1.16	0.27	0.35	
6	2	M10-K3	45	透片		碧璫石	信州			0.89	1.79	0.36	0.33	
6	2	M10-K3	46	透片		碧璫石	信州			1.06	1.25	0.10	0.11	
6	2	M10-K3	47	透片		碧璫石	信州			1.48	1.36	0.25	0.48	
6	2	M10-K3	48	透片		碧璫石	信州			1.09	1.25	0.08	0.09	
6	2	M10-K3	49	透片		碧璫石	信州			1.31	0.94	0.16	0.19	
6	2	M10-K3	50	透片		碧璫石	信州			3.38	1.33	0.68	2.48	
6	2	第178014	M10-K4	2	石核	碧璫石	信州			3.98	3.27	1.63	22.38	
6	2	M10-K4	3	透片		碧璫石	信州			2.92	1.15	0.52	0.91	
6	2	M10-K4	4	透片		碧璫石	信州			0.81	0.37	0.53	0.09	
6	2	M10-K4	5	透片		碧璫石	信州			4.13	1.76	0.94	4.48	
6	2	M10-K4	6	透片		碧璫石	信州			1.95	1.27	0.51	0.90	
6	2	M10-K4	7	透片		碧璫石	信州			2.06	1.45	0.46	1.28	
6	2	M10-K4	1	透片		碧璫石	信州			1.57	1.33	0.72	1.02	
6	2	第180156	M10-K4	2	透片	碧璫石	信州	2-接1	1.52	1.16	0.34	0.56		
6	2	M10-K4	3	透片		碧璫石	信州			0.62	0.79	0.26	0.12	
6	2	M10-K4	4	透片		碧璫石	信州			1.75	1.11	0.29	0.41	
6	2	M10-K4	5	透片		碧璫石	信州			1.66	2.46	0.43	0.94	
6	2	M10-K4	6	透片		碧璫石	信州			1.58	2.06	0.63	1.47	
6	2	第180156	M10-K4	2	透片	碧璫石	信州	2-接1	3.59	1.87	1.13	3.71		
6	2	M10-K4	3	透片		碧璫石	信州			1.81	1.27	0.26	0.46	
6	2	M10-K4	4	透片		碧璫石	信州			3.27	1.30	0.27	0.80	
6	2	第180156	M10-K4	19	透片	碧璫石	信州	2-接1	4.41	3.36	1.86	2.22		
6	2	M10-K4	11	透片		碧璫石	信州			2.20	1.20	0.22	0.51	
6	2	M10-K4	3	透片		碧璫石	信州			1.81	0.91	0.25	0.33	
6	2	第178012	M10-K4	4	二次加工のあれる透片	碧璫石	信州			2.54	0.62	0.40	0.50	
5	3	J10-K6	2	透片		チャート				3.44	3.45	1.77	11.24	
5	3	J10-K6	2	透片		砂粒				-	-	17782		
5	3	J10-K6	3	透片		ガラス質黒色安山岩				2.75	2.38	0.60	4.85	
5	3	J10-K6	4	透片		砂粒				1.49	2.22	0.86	2.20	
5	3	J10-K6	5	透片		ガラス質黒色安山岩				2.17	2.36	0.79	3.31	
5	3	J10-K6	6	透片		ガラス質黒色安山岩				3.75	2.06	0.63	3.59	
5	3	J10-K6	7	透片		ガラス質黒色安山岩				1.72	1.86	0.41	1.33	
5	3	J10-K6	8	透片		砂粒				2.79	1.34	0.51	1.63	
5	3	J10-K6	9	透片		ガラス質黒色安山岩				4.04	1.41	0.32	1.71	
5	3	J10-K6	10	透片		砂粒				0.97	1.51	0.34	0.32	
5	3	J10-K6	11	透片		砂粒				4.70	1.56	0.59	3.45	
5	3	J10-K6	12	透片		砂粒				0.76	1.55	0.27	0.24	
5	3	J10-K6	13	透片		ガラス質黒色安山岩				3.57	2.31	0.57	4.86	
5	3	J10-K6	14	透片		チャート				3.78	4.05	1.79	22.67	
5	3	第21181	J10-K6	15	透片	ガラス質黒色安山岩				3.41	1.41	0.52	2.40	
5	3	J10-K6	16	透片		砂粒				1.38	2.07	0.18	0.42	
5	3	第21181	J10-K6	17	石核	ガラス質黒色安山岩				5.25	2.68	1.59	24.79	
5	3	J10-K6	18	透片		ガラス質黒色安山岩				3.20	2.77	0.85	7.04	
5	3	第21181	J10-K6	19	透片	ガラス質黒色安山岩				2.66	1.30	0.54	1.47	
5	3	第21184	J10-K6	20	石核	ガラス質黒色安山岩				5.18	2.74	2.27	34.23	
5	3	J10-K7	1	a	透片	ガラス質黒色安山岩				3.79	2.31	0.76	6.21	
5	3	J10-K7	1	b	透片	ガラス質黒色安山岩				2.58	1.64	0.75	3.11	
5	3	J10-K7	3	透片		ガラス質黒色安山岩				1.71	1.09	0.55	0.90	
5	3	J10-K7	4	透片		ガラス質黒色安山岩				2.78	4.27	0.78	7.86	
5	3	J10-K7	5	透片		ガラス質黒色安山岩				4.47	3.04	0.73	7.35	
5	3	第21186	J10-K7	6	透片	白岩				3.54	1.63	1.04	5.59	
5	3	J10-K7	7	透片		ガラス質黒色安山岩				5.23	3.61	1.36	26.86	
5	3	J10-K7	8	透片		ガラス質黒色安山岩				3.58	2.10	0.94	6.07	
5	3	J10-K7	9	透片		白岩				1.80	1.58	0.33	0.61	
5	3	J10-K7	10	透片		ガラス質黒色安山岩				3.65	2.51	0.74	7.11	
5	3	J10-K7	11	透片		白岩				4.73	1.84	1.13	7.70	
5	3	J10-K7	12	石核		ガラス質黒色安山岩				3.44	3.08	1.69	14.12	
5	3	J10-K7	13	透片		ガラス質黒色安山岩				3.47	2.12	0.61	2.96	
5	3	第21186	J10-K7	14	透片	白岩				2.20	1.92	0.36	1.32	
5	3	J10-K7	15	透片		ガラス質黒色安山岩				5.39	1.80	1.04	9.02	
5	3	J10-K7	16	透片		白岩				0.97	1.14	0.14	0.15	
5	3	第22187	J10-K7	17	透片	白岩				2.30	4.05	0.97	7.76	
5	3	J10-K7	18	透片		ガラス質黒色安山岩				2.43	5.19	1.24	29.85	
5	3	J10-K7	19	透片		白岩				4.47	3.52	0.86	9.64	
5	3	J10-K7	20	透片		ガラス質黒色安山岩				2.55	1.53	0.60	1.82	
5	3	第22187	J10-K7	21	透片	白岩				2.81	3.48	1.53	12.61	
5	3	J10-K7	22	透片		白岩				3.09	2.84	0.49	4.45	
5	3	J10-K7	23	透片		白岩				5.72	2.34	0.64	6.57	
5	3	J10-K7	24	透片		ガラス質黒色安山岩				5.69	2.73	1.43	23.12	SKJ
5	3	J10-K7	25	透片		ガラス質黒色安山岩				6.29	2.98	0.47	4.40	
5	3	第22187	SJ-001	4	透片	ノウ								
5	3	第22187	SJ-004	5	透片	チャート								
5	3	L10-K7	1	透片		ガラス質黒色安山岩								
5	3	M10-K6	1	透片		白岩								
10	單施術上	第22091	M08-K4	1	透片	碧璫石	信州							
10	單施術上	SK-007	1	透片		白岩								

注 表中の上層追削番号は調査時のものであり、報告時には変更される可能性がある。

第3章　まとめ

本遺跡からは、3ブロックの石器集中地点を検出し、単体出土の石器も含めて合計215点の遺物が出土した。3つのブロックは出土層位や石器群の内容から、2枚の文化層として捉えた。以下に各文化層の石器群の様相をまとめる。

第1文化層 出土層位は立川ローム層Ⅵ～Ⅶ層に相当し、第1・2ブロックが該当する。石刃を素材とした二側縁加工ナイフ形石器が8点出土している。素材剥片の石刃は、接合資料やその他の資料にみられるように、打面を上下に転移させて作出されたものと考えられ、両設打面の石核から連続的に剥片剥離を行っていたと考えられる。石材は礫片を除き、すべて信州産黒曜石が用いられている。

周辺の遺跡では多数の石器群が確認されているが（第1章第2節参照）、中でも新市街地地区の市野谷入台遺跡第2文化層、市野谷芋久保遺跡第2文化層の石器群が類似し、どちらの遺跡も本遺跡と同一台地に位置している。市野谷入台遺跡第2文化層はⅥ層に生活面を持つと考えられる石器群で、総計510点が出土している。石刃素材で両側縁に調整加工が施されたナイフ形石器や削器などが出土し、石材組成は全体の9割以上を信州産（和田エリアとされている）黒曜石が占める。市野谷芋久保遺跡第2文化層は本遺跡の北側に隣接している。Ⅵ層下部～Ⅶ層に生活面を持つと考えられる石器群で総計119点が出土している。石刃を素材としたナイフ形石器や削片、有柄石刃などが出土した。様々な石材を利用し、文化層としては黒色頁岩を主体とするが、第2文化層の5ブロックのうち3ブロックは信州産黒曜石を主体としている。これらのことから、石刃の作出を技術基盤としていること、二側縁加工のナイフ形石器を主要器種としていること、信州産黒曜石の利用することが3遺跡の文化層の共通する特徴であるといえる。

第2文化層 出土層位は立川ロームⅢ層に相当し、第3ブロックが該当する。小型剥片を素材としたナイフ形石器が出土している。そのほか、石核や接合資料が確認されているが、どの資料も素材面を有し、握り拳大の素材を母岩として連続的に剥片剥離を行っていたと考えられる。また、接合資料は打面を整えたのちに石刃を連続的に作出していたことを示している。石材はガラス質黒色安山岩と頁岩を主体とし、北関東系の石材が中心である。

周辺では同一層位で多くの石器群が確認されているが、本文化層は定型的な石器が少なく、ほかの遺跡との対比は難しい状況である。小型のナイフ形石器や石刃の作出、北関東系石材の利用が主な特徴といえよう。

参考文献

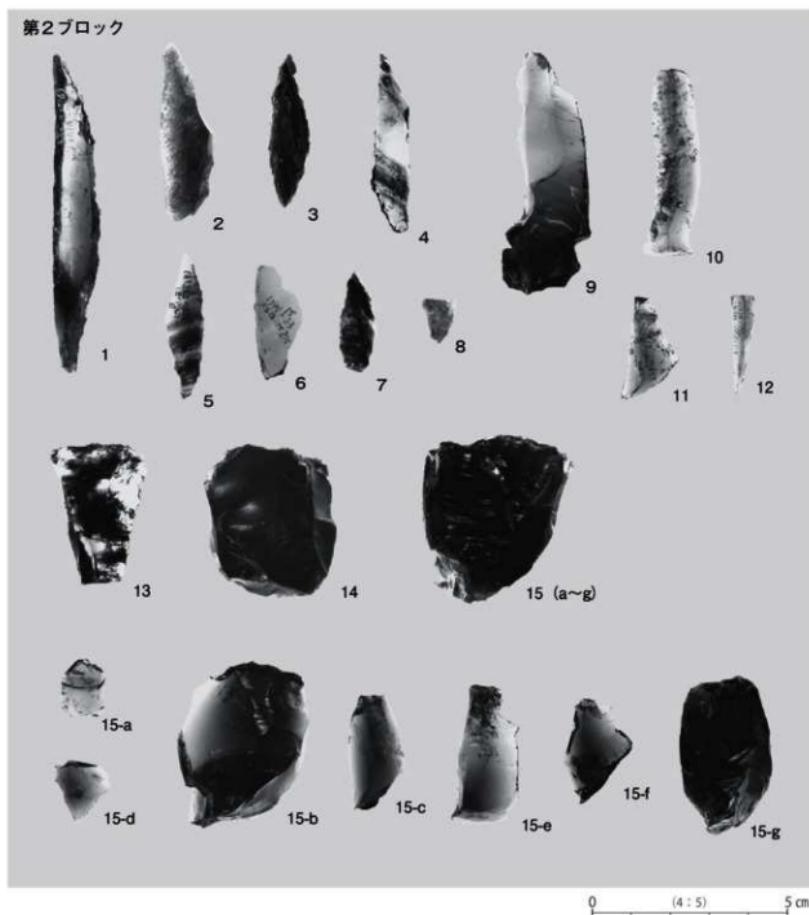
- (財)千葉県教育振興財团 2008『流山新市街地地区埋蔵文化財報告書3－流山市市野谷入台遺跡－』(財)千葉県教育振興財团
(公財)千葉県教育振興財团 2015『流山新市街地地区埋蔵文化財報告書7－流山市市野谷芋久保遺跡・市野谷中島遺跡（上層）・市野谷向山遺跡（上層）・市野谷立野遺跡・大久保遺跡（上層）・西初石五丁目遺跡・東初石六丁目第1遺跡（上層）・十太夫第1遺跡・十太夫第3遺跡－』(公財)千葉県教育振興財团

写 真 図 版



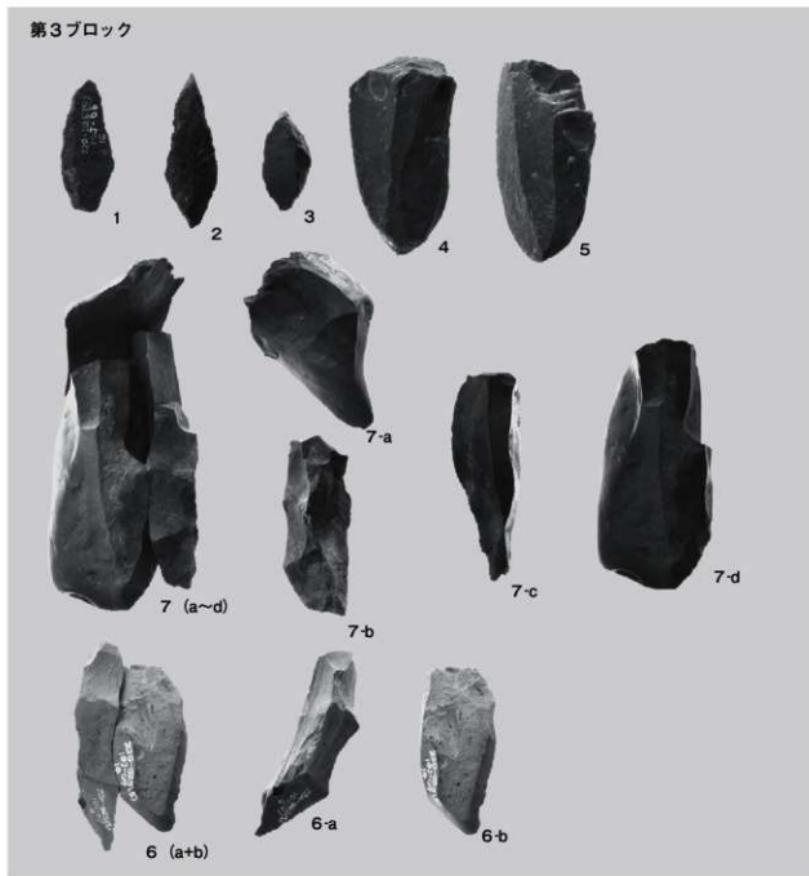
遺跡周辺航空写真 (1949年撮影)





0 (4 : 5) 5 cm

旧石器時代出土石器（1）



0 (4 : 5) 5 cm

旧石器時代出土石器（2）

報告書抄録

ふりがな	ながれやまうんどうこうえんしゅうへんちくまいぞうぶんかざいちょうさほうこくしょ							
書名	流山運動公園周辺地区埋蔵文化財調査報告書							
副書名	流山市市野谷宮後遺跡（北側）・市野谷芋久保遺跡(14)（旧石器時代編）							
卷次	7							
シリーズ名	千葉県教育委員会埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	第41集							
編著者名	安井健一 横田真名望							
編集機関	千葉県教育委員会							
所在地	〒260-8662 千葉県千葉市中央区市場町1-1 TEL043-223-4129							
発行年月日	西暦2022年3月25日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積等	調査原因
		市町村	遺跡番号					
いちらのやまとやまのくは 市野谷宮後 (北側)	流山市 市野谷 字宮後	12220	025	35度 51分 45秒	139度 55分 05秒	19971201 ～ 20091106	36.168m ²	土地区画整理 事業
いちらのやまとやまのくは 市野谷芋久保 (14)	流山市 市野谷 字芋久保	12220	021	35度 51分 50秒	139度 55分 08秒	20091103 ～ 20091113	125m ²	
				日本測地系				
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
市野谷宮後	包蔵地	旧石器	石器集中地点	3か所	ナイフ形石器、剥片、碎片、RF、UF、石核、接合資料、礫片			
市野谷芋久保	包蔵地	旧石器						
要約	市野谷宮後遺跡では旧石器時代の石器集中地点が2文化層から検出され、VI～VII層のブロックでは上下に打面転移を行った石核から剥離された、縦長剥片を用いた両側縁加工のナイフ形石器が、III層のブロックでは小型の縦長剥片を素材としたナイフ形石器が出土した。市野谷芋久保遺跡では遺構・遺物は確認されなかつたが、隣接する新市街地地区的調査区では多数の集中地点と遺物が確認されている。							

千葉県教育委員会埋蔵文化財調査報告第41集

流山運動公園周辺地区埋蔵文化財調査報告書7

-流山市市野谷宮後遺跡（北側）・市野谷芋久保遺跡(14)

(旧石器時代編) -

令和4年3月25日発行

編集・発行 千葉県教育委員会
千葉市中央区市場町1-1
印 刷 三陽メディア株式会社
千葉市中央区浜野1397

